平成２８年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人

四日市市社会福祉協議会

目　　次

◎　**会務報告**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**1**

◎　**総括**・・・**2**

1．市民啓発事業
（1）社協だより「かけはし」の発行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**3**
（2）法人認可５０周年記念事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**4**
①「５０年のあゆみ」の発行
②法人認可５０周年記念四日市市社会福祉大会の開催
（3）ホームページの更新・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**5**

2．福祉ボランティアのまちづくり事業
（1）相談援助業務・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**5**
①ボランティアに関する相談及びコーディネート業務
（2）情報収集と提供・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**5**
①ボランティアニュース「ボランティアのたまご」の発行
②ボランティア団体会員募集一覧冊子の作成
③ホームページの更新
④フェイスブックの更新
（3）ボランティアのきっかけづくり事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**6**
①はじめてのボランティア説明会の開催
②サマーチャレンジ２０１６の開催
（4）人材育成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**7**
①障害者スポーツボランティア講座の開催
（第５次地域福祉活動計画バージョンアッププロジェクト関連）
②地域福祉活動拠点でのボランティア講座
③福祉教育推進事業・福祉教育への支援
（5）活動支援（助成）事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**9**
①外出援助サービス保険料助成事業の実施
②ボランティア活動保険の加入促進
③ボランティア全国フォーラム２０１６参加支援
（6）協働事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**9**
①四日市ボランティアキャンペーンの開催
②ボランティアのつどいの開催
③学生〔高校生・大学生〕ボランティア連携事業
④コーディネートを考える会議の開催
（7）防災・災害支援事業
（第５次地域福祉活動計画バージョンアッププロジェクト関連）・・・・・・・・・・**13**
①災害ボランティアセンター推進事業
②災害ボランティア派遣事業
③広域災害ボランティアセンター強化事業

３．ふれあいのまちづくり事業

（１）地区社会福祉協議会支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
①地区社協への運営費等の助成
②地区社協指導者研修会等の実施
③福祉協力員等活動費補助事業の実施
④地域福祉活動メニュー事業の実施
（２）地域福祉活動支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
①福祉コミュニティーの推進
②包括的な相談窓口の設置（第５次地域福祉活動計画バージョンアッププロジェクト関連）
③成年後見サポートセンター
・地域後見サポート事業
④調査研究事業
⑤権利擁護の啓発の機会の実施
⑥法人後見受任
⑦生活困窮家庭支援、リユース事業（第５次地域福祉活動計画バージョンアッププロジェクト関連）
⑧なるほど出前講座の開催（第５次地域福祉活動計画バージョンアッププロジェクト関連）
（３）四日市市福祉教育大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
①四社協福祉ゼミナールの開催
②地域福祉ゼミナールの開催
③専門ゼミナールの開催
（４）生活支援コーディネーター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
（５）地域福祉活動事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
①拠点事業
・北地域拠点「よってこ家」
・下野地域拠点事業
・神前地域拠点事業
（６）ふれあいいきいきサロン推進事業及び住民主体サービスの推進・・・・・・・・・・２７
（７）福祉総合相談事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７

４．福祉事業

（１）介護保険関連事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
①中地域包括支援センター
②くす在宅介護支援センター
③介護保険認定調査業務の実施
④訪問介護事業（介護予防事業含む）の実施
⑤居宅介護支援事業の実施
⑥通所介護事業「ゆりかもめ」（介護予防事業含む）の実施
（２）在宅福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
①日常生活自立支援事業の実施
（３）障害者自立支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６
①居宅介護事業の実施
（４）福祉施設等管理運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７
①中央老人福祉センター
②障害者自立支援施設「共栄作業所」
③障害者自立支援施設「たんぽぽ」
④障害者自立支援施設「あさけワークス」
⑤障害者福祉センター

⑥障害者自立生活支援センター「かがやき」
⑦視覚障害者福祉センター
⑧障害者就業・生活支援センター「プラウ」
⑨障害者就労支援事業ワークセンター
⑩よっかいち福祉の店
⑪おもちゃ図書館
⑫母子・父子福祉センター

５．その他の事業
（１）福祉サービス相談窓口の開設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**４８**
（２）職員の安全衛生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**４９**
（３）職員研修の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**４９**
（４）資金貸付事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**５０**
①生活福祉資金貸付事業の実施
②資金貸付事業の実施
（５）実習生等の受け入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**５１**
（６）財政基盤の安定化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**５１**
①社会福祉協議会会員会費
②善意の基金
③収益事業の実施
・「喫茶ふれあい」の経営
・「総合会館売店」の受託運営
④共同募金運動（三重県共同募金会四日市市共同募金委員会事業）の推進
⑤寄付金等
⑥資産運用
（７）生活困窮者支援事業
（第５次地域福祉活動計画バージョンアッププロジェクト関連）・・・・・・・・・・**５３**
①生活困窮者支援緊急食糧提供事業（フードバンク）
②緊急時物品等支援事業
③生活困窮者就労活動支援事業

【 会 務 報 告 】

理事会の開催

・第１回　平成２８年５月２５日（水）午後２時～４時　本町プラザ６階第４会議室
　議　　案　　１．理事、評議員の一部変更について
　　２．平成２７年度事業報告及び収支決算報告について
　　３．平成２７年度監査結果報告について
　　４．「福祉サービス相談窓口」第三者委員の選任について
　　５．規程の一部改正について

・第２回　平成２８年８月２６日（金）午後２時～３時　総合会館８階第３・４会議室
　議　　案　　１．評議員の一部変更について
　　２．四日市市社会福祉大会における福祉功労者の表彰について
　　３．処務規程の一部改正について

・第３回　平成２８年１１月２５日（金）午後２時～３時　市総合会館８階第３・４会議室
　議　　案　　１．定款の一部改正について
　　２．評議員選任規程の一部改正について
　　３．評議員選任・解任委員会運営細則の新設について
　　４．評議員選任・解任委員会委員の選任について
　　５．給与規程の一部改正について

・第４回　平成２９年３月２７日（月）午後２時～４時　市総合会館７階第１研修室
　議　　案　　１．理事の一部変更について
　　２．評議員候補者の推薦について
　　３．福祉サービス相談窓口第三者委員の一部変更について
　　４．平成２８年度収支補正予算について
　　５．平成２９年度事業計画及び収支予算について
　　６．各種規程等の一部改正について

評議員会の開催

・第１回　平成２８年５月３０日（月）午後２時～４時　市勤労者・市民交流センター東館３階大会議室
　議　　案　　１．理事の一部変更について
　　２．平成２７年度事業報告及び収支決算報告について
　　３．平成２７年度監査結果報告について

・第２回　平成２８年１１月２８日（月）午後２時～３時３０分　市総合会館８階第３・４会議室
　議　　案　　１．定款の一部改正について

・第３回　平成２９年３月２９日（水）午後２時～４時　市総合会館７階第１研修室
　議　　案　　１．理事の一部変更について
　　２．平成２８年度収支補正予算について
　　３．平成２９年度事業計画及び収支予算について

監査の実施

平成２８年５月１６日（月）午前１０時～１１時３０分　市総合会館４階会議室
　　平成２７年度事業報告及び会計監査

平成２８年度事業報告　総括

今日の急速な高齢化や、地域社会及び家族のあり方の変化等に伴い、福祉ニーズが多様化・複雑化してきており、公的な制度では、支えきれない生活困窮や孤立、虐待などの生活課題が顕著化している。

そのような中、平成２８年３月に改正社会福祉法が制定され、本会は高い公益性を備える社会福祉法人として、事業運営の透明性を確保しながら地域福祉の推進役としてますます役割が期待されている。

平成２８年度は法改正に対応するための定款変更を行うとともに、介護予防・日常生活支援総合事業への取り組み、各種事業等の見直しなどを行い、法人としてサービスの質の向上を目標に事業を展開してきた。また、平成２８年度に策定した第５次四日市市地域福祉活動計画に基づき、地域社会のニーズへの対応など、全所属で力を合わせ、地域住民、各種団体と協働して地域福祉を推進した。

特徴的な取り組み

〇法人運営関連事業

・定款等の変更

大幅な社会福祉法の改正に伴い、本会定款及び各種規程の改正を行った。

・法人認可５０周年記念事業の開催

記念誌「５０年のあゆみ」を作成し社会福祉大会で配布、また同大会で法人認可５０周年記念特別表彰を行った。

・旧訪問介護事業所の取り壊し

旧事業所建物を取り壊し、本会公用車駐車場として整備した。

〇地域福祉関連事業

・ふれあいのまちづくり事業

小地域福祉活動の推進を図るため、地区社会福祉協議会連絡協議会の全体事業を実施した。また、四日市市から生活支援コーディネーター及びふれあいいきいきサロン推進事業の委託を受けて職員４名を配置し、地域包括ケアの実現にむけて拠点事業及び地域ケア会議への出席等を通じて地域組織化に取り組んだ。地域拠点では、地域の交流拠点としてカフェサロンの開催や先進的モデル活動として、地域活動団体等の視察の受け入れ等に取り組んだ。

・地域後見サポート事業

専任職員１名を配置し、成年後見制度や権利擁護事業に関わる相談だけではなく、先駆的事業の開発として制度の狭間で支援の行き届かないケース等に対する相談窓口を設置し、さまざまな関係機関と協働で新たなセーフティーネットづくり「包括的な総合相談窓口機能の構築」に向けて準備を行った。

・ボランティアセンター事業

ボランティアセンターのコーディネートの充実を図るために、コーディネートに関わる関係機関との情報交換・情報共有を実施した。

ボランティア活動や福祉を身近に感じてもらえるよう、学校との協働、連携を模索し、さまざまな事業を通した働きかけを強化した。

企業との連携や２０２１年三重国体にあわせて開催される全国障害者スポーツ大会へ向け、多くの市民に障害者スポーツの魅力を知っていただく講座に着手した。

・日常生活自立支援事業

三重県社会福祉協議会の委託を受けて三泗地域（本市、朝日町、川越町）の基幹的社協として、日常生活自立支援事業を実施した。福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりなどの支援を行った。

専門員７人体制での年度末利用者数は３８６件で、前年度比２３件増となっている。新規の開始件数は９５件、相談件数は7，８５７件であり本事業へのニーズの高さがうかがえた。

○高齢者福祉関連事業

中地域包括支援センター・居宅介護支援事業所（四日市）・訪問介護事業所を本町プラザ４階に移転し、各部署の連携強化を図り、高齢者福祉・介護の総合相談・生活支援などの充実強化に取り組んだ。

中地域包括支援センター・くす在宅介護支援センターは、地域包括ケアシステムの中核機関として、在宅医療と介護との連携の推進・認知症対策地域支援・地域ケア会議の開催・介護予防日常生活支援総合事業への移行準備などを行い地域の福祉力向上を進めた。また、介護保険認定調査の適正実施、介護保険サービスの質の向上に取り組んだ。

○障害者福祉関連事業

障害者福祉関連４施設（障害者福祉センター・共栄作業所・たんぽぽ・あさけワークス）は、平成２６年度から平成３０年度までの５年間の３年目の指定管理者として、引き続き管理・運営し、サービス向上と経費削減に努め、事業に取り組んだ。

また、管理業務を円滑に実施し、業務の調整及び情報の交換を図るため、今年度は８回、市障害福祉課と施設連絡調整会議を開催した。

平成２８年度事業報告の詳細は、以下のとおり。

１．市民啓発事業

市社協の事業の紹介や、市民にとって必要な福祉情報等をわかりやすく提供するため、広報紙を発行するとともに、社会福祉大会を開催し、市民の福祉意識の向上に努めた。特に、法人認可５０周年についても周知した。また、ホームページを随時更新し、タイムリーな情報提供に努めた。

（１）社協だより「かけはし」の発行

市社協事業の紹介及び報告、福祉情報の提供など市社協活動や福祉理解の促進、福祉啓発を目的として発行した。発行回数は年５回、各号約１３８，０００部を市内全戸に配布した。同時に、希望される視覚障害者に、点訳かけはし（１回約１９部）、録音かけはし（カセット版１回約７本、ＣＤ版１回約１４枚）を発行した。また、財源確保のため平成２８年度から広告募集を行い、掲載した。

発行日	内　　容
６月２０日 第１３６号	〔表紙：おもちゃ図書館まつりの案内〕 ・法人認可５０周年記念シンボルマーク決定 ・平成２８年度予算、及び平成２７年度決算の報告 ・市社協会費のお礼とお願い ・障害者福祉センターだよりＷＩＴＨ （講習会、点字の情報提供、点字教室、歩行訓練、プライベート録音） ・ボランティアセンターからのお知らせ （サマーチャレンジ２０１６参加者募集） ・母子・父子福祉センターからのお知らせ（パソコン講座参加者募集） ・寄付のお礼
８月２０日 第１３７号	〔表紙：２８年度四日市市社会福祉大会の案内〕 ・平成２９年度採用正規職員募集 ・赤い羽根共同募金 平成２７年度のお礼と報告 ・中央老人福祉センターのご案内（四日市市老人クラブ連合会からのお知らせ） ・母子・父子福祉センターからのお知らせ（母子寡婦福祉会作品展）

８月２０日 第１３７号	・市社協 地域拠点「下野活き域ステーション」スタート ・ボランティアセンターからのお知らせ （ボランティアのつどい、はじめてのボランティア説明会） ・障害者福祉センターだよりＷＩＴＨ（スポーツ吹矢の紹介） ・第５次四日市市地域福祉活動計画について ・寄付のお礼
１０月２０日 第１３８号	〔表紙：平成２８年度　赤い羽根共同募金のお願い〕 ・四日市市社会福祉大会の案内 ・たんぽぽ　野菜収穫の報告 ・三重県社会福祉協議会からのお知らせ （シニア生き生きチャレンジ教室のご案内） ・地域福祉課　四日市市成年後見サポートセンターのご案内 ・ボランティアセンターからのお知らせ（はじめてのボランティア説明会） ・障害者福祉センターだよりＷＩＴＨ（第３５回四日市市障害者大会のご案内） ・母子・父子福祉センターからのお知らせ（パソコン講座の報告） ・寄付のお礼 ・香典返しについて
１２月２０日 第１３９号	〔表紙：平成２８年度　四日市市社会福祉大会の報告〕 ・赤い羽根共同募金、街頭募金の報告とお願い ・ボランティアセンターからのお知らせ（はじめてのボランティア説明会） ・障害者福祉センターだよりＷＩＴＨ （平成２８年度 障害者福祉講座のご案内） ・母子・父子福祉センターからのお知らせ（パソコン講座 参加者募集） ・寄付のお礼 ・「社協だより かけはし」広告募集
２月２０日 第１４０号	〔表紙：赤い羽根共同募金運動のお礼、歳末たすけあい見舞金贈呈式の報告〕 ・「よっかいち福祉の店」即売会のお礼 ・たんぽぽ　「地域交流行事」餅つき大会の報告 ・ボランティアセンターからのお知らせ （四日市ボランティアキャンペーンのお知らせ（イベント・プログラム・説明会）） ・母子・父子福祉センターからのお知らせ（和裁サークル 参加者募集） ・障害者福祉センターだよりＷＩＴＨ （平成２９年度 障害者デイサービス利用者募集、各種訓練、教室のお知らせ） ・寄付のお礼 ・広告掲載（自然食 稲穂）

（２）法人認可５０周年記念事業

①「５０年のあゆみ」の発行

５０周年記念誌として「５０年のあゆみ」の発行、シンボルマーク入り５０周年記念クリアファイルを各々2,000部作成し、各関係機関や四日市市社会福祉大会にて市民へ向け配布した。

②法人認可５０周年記念四日市市社会福祉大会の開催

永年にわたり、社会福祉活動に功績のあった個人及び団体を表彰するとともに、講演をとおして広く市民に福祉について考える場を提供し、福祉意識の高揚を図った。法人認可５０周年記念事業と併せて開催し、法人認可５０周年記念特別表彰を設けた。

・日　時　平成２８年１１月　２日（水）午後１時３０分～４時
・場　所　四日市市文化会館　第１ホール
・参加者　約９５０名
・福祉功労者表彰　　３０名１４団体
　・四日市市長表彰　　１名・１団体

・四日市市長特別表彰　　１団体
・四日市市社会福祉協議会会長表彰　　１８名・４団体
・四日市市社会福祉協議会会長感謝　　１１名
・三重県共同募金会四日市市共同募金委員会会長表彰　５団体
・法人認可５０周年記念特別表彰　　３団体

・講　演　～みんな地球に生きるひと～
・講　師　アグネス・チャン　氏（歌手・教育学博士（Ｐｈ．Ｄ））

（３）ホームページの更新

市社協の組織や事業とともに、職員募集情報や各種講座案内等のページの作成及び更新を年間で２６５回行い、タイムリーな情報を提供できるよう努めた。

【市民啓発事業　まとめ】

社協だより「かけはし」は、記事を見て社会福祉大会やボランティアの説明会に参加された方もあり、市民の福祉啓発や市社協のPRに成果がみられた。また、５０周年記念誌は、『これまでの歴史を知ることができ良かった』などの声をいただいた。

「四日市市社会福祉大会」では、『大会宣言での安心して暮らしつづける福祉のまちづくりに取り組みたい』『各地区でのボランティア活動が活発に行われていることを知ることができて、自分も活動に参加できたらと思った』、講演では、『とても感動するお話で、聞いていてすごく熱意と優しさを感じました』『人のために何かをするということは、自分自身が変わることができる。小さいことでも人のために勇気を持つということを教えていただきました』などの声をいただいた。

２．福祉ボランティアのまちづくり事業

ボランティアセンターでは、市民相互の助け合いによる福祉のまちづくりを目的として、市民がボランティア活動に参加するために必要な啓発活動、学習や活動の場、各種ボランティアに関する最新情報を提供するとともに、ボランティアグループや個人ボランティアへの活動支援などに取り組んだ。

（１）相談援助業務

①ボランティアに関する相談及びコーディネート業務

ボランティアに関する相談への対応や、ボランティアを必要としている人とボランティア活動を希望している人や活動中の人を実際の活動につなげるコーディネートを行った。

●ボランティアに関する相談・調整

相談・調整先	件数
市民、関係機関等	４６１件

●コーディネート実績

年　度	依頼件数	派遣件数	派遣人数	派遣団体数
27年度	１２４件	１０５件	３２５名	２３団体
28年度	１１１件	８３件	２７７名	３０団体

（２）情報収集と提供

①ボランティアニュース「ボランティアのたまご」の発行（月１回）

ボランティアに関する事業や情報を掲載し、毎月２０日に発行した（発行部数約1,800部）。

ボランティア団体や個人ボランティア、行政、一部企業等の各関係機関への送付や地域の掲示板への貼付などにより、ボランティア活動の周知に努めた。

②ボランティア団体会員募集一覧冊子の作成

ボランティアセンターに登録している団体のうち、会員募集をしている団体を活動分野別に冊子としてまとめ、ボランティア希望者へ情報提供を行った。

③ホームページの更新

ホームページ上に、ボランティアセンター事業やボランティア募集などボランティアに関する情報を掲載し、ボランティア活動の周知に努めた。

④フェイスブックの更新

若い世代を中心に普及しているフェイスブックの拡散性、即時性、滞留性の機能を活かしてボランティアセンターが開催する各種イベント事業の様子をはじめ、企画の段階から関わってもらったボランティアのみなさんの様子、各ボランティア団体の活動の様子などを発信し、ボランティア活動やボランティアセンターをより身近なものに感じてもらえるように努めた。

（３）ボランティアのきっかけづくり事業

①はじめてのボランティア説明会の開催

これからボランティア活動を始めたいという人を対象に、ボランティア活動に関する基礎知識の習得と実際の活動へのつながりを目的に開催した。開催日時は、より多くの人に参加してもらえるように、毎月３回、平日午前、平日夜間、休日午後とした。

月	開　催　日	参加者数	説明会内容
4月	5日(火)　12日(火)　23日(土)	１２名	＜全体説明＞ ①社協&ボランティアセンターの概要説明 ②ボランティアについての学習 ③市内ボランティア活動状況 ④ボランティア活動保険の説明 ⑤ボランティア募集状況　他 ＜個人対応＞ ①１対１で活動希望の聞き取り ②活動先との調整 ③見学への同行 ④活動中のフォロー
5月	10日(火)　17日(火)	３名	
6月	7日(火)　14日(火)　25日(土)	９名	
7月	5日(火)　12日(火)　23日(土)	５名	
8月	2日(火)　20日(土)	７名	
9月	6日(火)　13日(火)　24日(土)	１１名	
10月	4日(火)　11日(火)　22日(土)	９名	
11月	1日(火)　8日(火)　19日(土)	９名	
12月	6日(火)　13日(火)　17日(土)	８名	
1月	10日(火)　17日(火)　28日(土)	９名	
2月	7日(火)　14日(火)　25日(土)	１５名	
3月	7日(火)　14日(火)　25日(土)	８名	
年 間	34日	１０５名	

②サマーチャレンジ２０１６の開催

高校生・大学生・専門学校生を対象に、夏休み期間を利用してボランティア活動をしてもらうことで、ボランティア活動の魅力を伝えるとともにボランティア活動者の育成を図ることを目的に開催した。

開　催　日	活　動　内　容	受け入れ施設・団体	参加者数 (延数)
7月16日(土) 25日(月) 8月 2日(火) 16日(火)	事前説明会 ・自己紹介、ボランティアセンターから（活動の心得、保険、登録など） ・グループワーク（活動の期待等）		２５名
8月 5日(金) 19日(金) 26日(金)	カフェサロン（サロンよってこ家）での活動（サロン活動のお手伝い等）	サロンよってこ家	１０名
8月 3日(水) ～5日(金)	高齢者施設での活動（話し相手・レクリエーション・夏祭りのお手伝い等	四日市ユートピアハウス	１６名

7月22日(金) 27日(水) 29日(金) 8月 3日(水) 10日(水) 12日(金) 24日(水) 26日(金) 31日(水)	児童デイサービス（障害児との交流） ・創作活動、調理、野外活動など	障害者福祉センター	３０名
8月21日(日)	障害者スポーツ「ボッチャ」の体験	ボッチャサークル コロコロ四日市	２名
8月17日(水) 21日(日)	障害者スポーツ「サウンドテーブルテニス」の体験	サウンドテーブルテニスサークル	８名
8月26日(金) 29日(月) 9月 3日(土)	参加者交流会 ・活動紹介のパネル作成 ・ボランティアのつどいへの参加		１３名

（４）人材育成事業

①障害者スポーツボランティア講座の開催（第５次地域福祉活動計画バージョンアッププロジェクト関連）

東京パラリンピック(2020年)、三重県での全国障害者スポーツ大会の開催(2021年)を控え、障害者スポーツへの関心を高め、応援者を増やすことを目的に講座を開催。

開　催　日	開催場所	開　催　内　容	参加者数
10月30日(日)	三重北勢健康増進センター軽運動室他	『ようこそ！障害者スポーツの世界へ！』 （講師）　日本福祉大学　教授　藤田　紀昭　氏 『ボッチャを体験！』 （協力）　ボッチャ指導員　　勝田　雅恵　氏 ボッチャサークルコロコロ四日市	３２名
11月27日(日)	三重北勢健康増進センター軽運動室他	『ボランティアとは！』 四日市市社会福祉協議会 ボランティアセンター職員 『ボランティア実践者から』 ボッチャサークルコロコロ四日市　佐藤　志穂美　氏 エンジョイSSピンポンクラブ　　稲毛　洋子　氏 『サウンドテーブルテニスを体験！』 （協力）　エンジョイSSピンポンクラブ	２５名

②地域福祉活動拠点でのボランティア講座

ボランティアに関心を持ち、身近な地域で活動する人を増やすことを目的に講座「ボランティアカフェまなびや」をサロンよってこ家で開催した。

開　催　日	開　催　内　容	参加者数
6月29日(水)	心を包む風呂敷　（ワークショップ形式） （講師）　四日市市立博物館　　伊藤　義浩　氏	１３名
7月27日(水)	命の声を聴く　自己尊重トレーニング （講師）　自己尊重プラクティス　セパ三重　市川氏・池田氏	５名
8月24日(水)	水鉄砲をつくってあそぼう！ （講師）　舘　信夫　氏&よってこ家　ふすま隊のみなさん	１３名
9月27日(火)	絵本に親しもう～絵本の読み聞かせ、選び方、紹介～ （講師）　四日市市立図書館　職員	３０名
10月25日(火)	東海道と四日市宿～富田のまちのいま・むかし～ （講師）　四日市市立博物館　　学芸員　広瀬　毅　氏	２０名

11 月 22 日(火)	いきいき 100 歳体操ご一緒に！ ～いつもでも元気で若々しくいるために～ （講師）　四日市市北地域包括支援センター　土田　仁美　氏	２４名
12 月 18 日(日)	カレンダーづくり ～折り紙やちぎり絵を使ってｵﾝﾘｰﾜﾝのカレンダーをつくろう～ （講師）　子育てサロンみどりの芝生のみなさん	１０名
1 月 24 日(火)	天然素材でつくるバスボムづくり （講師）　日本ナチュラルセラピスト協会　藤井　ひとみ　氏	８名
2 月 28 日(火)	はまぐりを使って「ひな人形」をつくろう （講師）　四日市市北部児童館　北浦　優子　氏	３４名
3 月 28 日(火)	親子で「ヨガ」を楽しもう！ （講師）　ヨガインストラクター　伊藤　寛恵　氏 みんなで富田の魅力を語ろう！ （講師）　富田地区連合自治会　樋口会長 富田地区社会福祉協議会　長谷川会長	２７名

③福祉教育推進事業・福祉教育への支援

（ア）地域福祉教育推進（講師派遣）事業〔１３校　２３講座〕

子どもたちが地域の中で生活全般にかかわる「福祉」について学び、自分にできることを考えるきっかけづくりとなる福祉教育を推進するため、日常的に子どもたちと関わり、福祉教育を実践されている学校と協議をしながら、子どもたちにあった学習プログラムを作成した。

講師の紹介や調整、依頼やその経費については市社協が担う事業として実施した。

学校名	派遣した講師
県小学校	視覚障害者（エンジョイ SS ピンポンクラブ）
大谷台小学校	視覚障害者（エンジョイ SS ピンポンクラブ）
川島小学校	日本福祉大学教員（教職員向け福祉学習研修会）
	聴覚障害者
	視覚障害者
	肢体障害者（車いす利用者）
羽津北小学校	視覚障害者
日永小学校	視覚障害者
八郷小学校	視覚障害者
	肢体障害者（車いす利用者）
桜中学校	視覚障害者（エンジョイ SS ピンポンクラブ）
	肢体障害者（ボッチャサークル）
	社会福祉協議会職員（「福祉・福祉の仕事の魅力」）
笹川中学校	社会福祉協議会職員（「福祉・障害」）
	視覚障害者（エンジョイ SS ピンポンクラブ）
中部中学校	社会福祉協議会職員（「福祉・障害」）
	視覚障害者（エンジョイ SS ピンポンクラブ）
	肢体障害者（ボッチャサークルコロコロ四日市） 社会福祉協議会職員
	社会福祉協議会職員（「学習のふりかえり」）
富洲原中学校	社会福祉協議会職員（「福祉・障害」） 肢体障害者（ボッチャサークルコロコロ四日市）
保々中学校	社会福祉協議会職員（「認知症理解・映画」）
	社会福祉協議会職員（「高齢者福祉・認知症理解」）

三滝中学校	社会福祉協議会職員（「福祉・福祉の仕事の魅力」）
港中学校	視覚障害者（エンジョイ SS ピンポンクラブ）

（イ）福祉教育への支援〔２校〕

地域福祉教育推進事業実施校以外の小学校・中学校・高等学校で、福祉教育に取り組んでいる学校の相談に応じ、取り組み内容についての情報提供や福祉用具の貸出等を行った。

（５）活動支援（助成）事業

①外出援助サービス保険料助成事業の実施

外出困難な要援護者のニーズ対応と外出機会の拡大を目的として、医療機関などへの外出援助サービスを行っているボランティア団体等に対して、送迎サービス補償・ボランティア活動保険の各保険料の半額助成を行った。

〔助成団体〕１．桜ボランティア協会〔桜地区〕
２．ミニデイサービス「ともだちの和」〔桜地区〕

②ボランティア活動保険の加入促進

ボランティア活動中の事故に備えて、ボランティア活動保険の掛金の一部補助（一律一人 100 円）を行い、加入促進を図った。

ボランティア活動保険加入者４，１８０名（平成２９年３月３１日現在）

③ボランティア全国フォーラム２０１６参加支援

ボランティア活動への関心が高まっている中、全国規模のボランティアフォーラムへの参加を通して、活動者の全国的な実践交流や情報共有・相互研鑽を図ることを目的として、ボランティア団体・個人ボランティアを対象に参加を募り、フェスティバルに参加する費用の一部（交通費・参加登録費）を助成した。

開催日	開催場所	参加者	開催内容	参加者数
11 月 5 日（土） ～6 日（日）	（東京都） 国立オリンピック記念青少年総合センター	ボランティア団体	・記念講演 ・トークセッション ・分科会	４名

（６）協働事業

①四日市ボランティアキャンペーンの開催

ボランティア活動の啓発及びボランティア人口「ボラ友」の拡大を目的に、３月４日「みんなでしよにボランティア」（キャッチフレーズ）を四日市市のボランティアの日とし、また３月４日～３１日までを四日市ボランティアキャンペーン期間として、下記イベントを開催した。

開催に伴い、企業２１社の協賛や協力を得た。

●街頭ＰＲ活動 in ふれあいモール

開催日	開催場所	開　催　内　容	参加者数
3 月 4 日（土）	四日市駅前東口広場 ふれあいモール	街頭ＰＲ活動 ・ティッシュ、チラシ配り ・ゆるキャラと一緒に写真を撮ろう！	１１名

●はじめてのボランティア説明会

開催日	開催場所	開　催　内　容	参加者数
3 月　7 日（火） 14 日（火） 25 日（土）	四日市市総合会館	・ボランティアに関する基礎知識 ・ボランティアの心がまえ ・ボランティア募集や活動紹介など	8 名

●ボランティア啓発イベント（運営委員会形式で開催）

開催日	開催場所	開　催　内　容	参加者数
3月18日(土)	四日市 市民公園	①アルミ缶エリア アルミ缶回収(15,000缶以上) ・アルミ缶アート 「市民グループによるアルミ缶アート」 参加グループ チームとみすはら Kawagoe Jyunior High School 橋北学童保育所　ニコニコ学童 モンチファミリー あおぞらワーク ・アルミ缶であそぼ：運営委員企画コーナー 缶けり、缶入れ アルミ缶実験ブース ②施設紹介コーナー ・アルミ缶寄贈先施設の紹介、製品即売 〔参加施設〕 あおぞらワーク あさけワークス かすみの里 作業所来夢 サクラノ園 清和ワークキャンパス 手づくり工房あゆみ ユーユーハウス わかたけ萩の里 ③災害ボランティアコーナー ・消防団紹介、体験コーナー ・地震体験車 ・防災食体験 ④ステージコーナー ・住友電装和太鼓チーム ・メリノール女子学院聖歌隊 ・中部中学校吹奏楽部 ⑤ご当地キャラクター集合 こにゅうどうくん、ポッター、フォーリン、めんちゃん、くうちゃん、ラブ、	５５名 （当日運営 ボランティア）

●ボランティア啓発イベント開催に伴う企画運営委員会＆事前説明会の開催

〔運営委員会〕

開催日	参加者	開　催　内　容	参加者数
4月11日(月) 11月21日(火) 12月20日(火) 2月1日(水) 3月7日(火)	・ボランティア団体 （５団体） ・学校関係（１校） ・個人ボランティア	①四日市ボランティアキャンペーン 企画内容に関すること ②当日の準備・運営などに関すること ③啓発イベントの振り返り	３９名

〔当日スタッフへの事前説明会〕

開催日	参加者	開　　催　　内　　容	参加者数
3月 9日(木) 3月10日(金)	・ボランティア団体 ・個人ボランティア ・学校	・ボランティア啓発イベント(3/18)の内容説明、役割分担など	２０名

●ボランティア体験プログラム

開催	名　称	内　　容	参加者数
3月 5日(日)	ウミガメを四日市へ 海岸清掃と勉強会	吉崎海岸の清掃と自然や環境の学習。 〔協力団体：四日市ウミガメ保存会〕	８名
3月 9日(木)	植樹をして垂坂 公園のアカマツを 再生させよう	垂坂公園でのアカマツの植樹。 〔協力団体：緑の会羽津〕	１９名
3月 11日(土)	〝介護〟を PR する 団体の募金活動に 参加しよう	チラシの配布や街頭募金を通じて、〝介護〟職の現状を知る。 〔協力団体：りんどうの会〕	１５名
3月 12日(日)	障害者スポーツ ボッチャを楽しもう	パラリンピック種目。一緒に競技を楽しみながら知り、応援していく。 〔協力団体：ボッチャサークルコロコロ四日市〕	７名
3月 21日(火)	ボランティア ニュースの封入	ボランティアニュースの発送作業を一緒に行いながら、交流する。	９名
3月 29日(水)	障害者スポーツ サウンドテーブルテニスを楽しもう	全国障害者スポーツ大会種目。一緒に競技を楽しみながら知り、応援していく。 〔協力団体：エンジョイ SS ピンポンクラブ〕	１０名

②ボランティアのつどいの開催

ボランティアセンター登録団体や個人ボランティアが一堂に会することによって、情報交換や交流を行い、団体同士または、団体や個人とボランティアセンターのつながりを強化することを目的に開催した。（実行委員会形式で開催）

開催日	開催場所	参加者	開　催　内　容	参加者数
9月 3日(土)	四日市市 文化会館 第４ ホール	・ボランティア団体 ・個人ボランティア ・一般参加	ボランティアカフェ ～行ってみなくちゃわからない～ 第１部「みんなの知恵をあつめよう」 　まちづくりや防災などをテーマにした「答えのないクイズ」に挑戦！グループでベストアンサーを話し合う。 第２部「みんなの活動見てみよう」 　市内のボランティア団体や活動者が集まり、活動紹介、パネル・写真展示。	９４名

〔実行委員会の開催〕

開催日	参加者	開　催　内　容	参加者数
5月 31日(火) 6月 23日(水) 7月 26日(火) 8月 23日(火) 9月 8日(木)	・ボランティア団体（６団体） ・学校関係（１校） ・個人ボランティア	①企画内容に関すること ②当日の運営等に関すること ③つどいのふりかえり	55名

③学生〔高校生・大学生〕ボランティア連携事業

現在、つながりのある学校とのさらなる顔のみえる関係づくりを目的に、イベントや活動等を通して連携強化に努めた。

学　校　名	活　動　内　容
四日市大学	①四日市大学・四日市看護医療大学合同文化祭 （よんよん祭り）でのボランティアセンターとの合同出展 ＜出展内容：展示&思いやりリレー＞
四日市看護医療大学	①四日市大学・四日市看護医療大学合同文化祭 （よんよん祭り）でのボラセンとの合同出展 （出展内容：展示、思いやりリレー） ②四日市ボランティアキャンペーンの運営委員として、ボランティアのつどい実行委員としての参画及び参加
ユマニテク医療福祉大学校	①介護福祉学科１年生へのボランティア講座の開催 ②各種ボランティア活動への参加 ③サマーチャレンジへの参加
三重県立四郷高校	①サマーチャレンジへの参加 ②各種ボランティア活動への参加
川越高校、中部中学校、港中学校、保々中学校、大谷台小学校、笹川西小学校	四日市ボランティアキャンペーンへの参加・協力

④コーディネートを考える会議の開催

コーディネート業務の向上を図ることや新たなしくみづくりを構築していくことを目的とし、関係機関（ボランティアの送り出し機関、ボランティアの受け入れ機関、中間支援組織、学識経験者など）が集まり、よりよいコーディネートに向けて情報の共有や意見交換を行った。

開催日	参　加　機　関	開　催　内　容	参加者数
6 月 16 日(木)	①サンディスク(株) ②ユマニテク医療福祉大学校 ③作業所　来夢 ④四日市ふるさとファーム ⑤障害者相談支援センター ソシオ ⑥三重県ボランティアセンター ⑦学識経験者	■今年度の取り組み提案 ■個別ニーズへ対応のしくみについて（今年度取り組み方向）	１２名
9 月 29 日(木)	①サンディスク(株) ②作業所　来夢 ③四日市ふるさとファーム ④障害者相談支援センター ソシオ ⑤三重県ボランティアセンター ⑥学識経験者	■個別ニーズへの対応のしくみについての意見交換（富田・下野での取り組み） ■事業の振り返り	１１名
12 月 8 日(木)	①サンディスク(株) ②ユマニテク医療福祉大学校 ③作業所　来夢 ④よっかいち諧朋苑 ⑤四日市ふるさとファーム ⑥学識経験者	■個別ニーズへ対応のしくみについての意見交換（富田での取り組み） ■相談の現状からの意見交換	１１名
3 月 23 日(木)	①ユマニテク医療福祉大学校 ②作業所　来夢 ③障害者相談支援センター ソシオ ④三重県ボランティアセンター ⑤学識経験者	■個別ニーズへ対応のしくみについての意見交換と次年度の方向（地域福祉活動拠点富田での取り組み） ■次年度の取り組み	１０名

（７）防災・災害支援事業（第５次地域福祉活動計画バージョンアッププロジェクト関連）

①災害ボランティアセンター推進事業

四日市社会福祉協議会災害ボランティアセンター運営マニュアルに基づき、災害ボランティアセンターを設置する工程の確認及び､運営マニュアルの見直しと設置に向けた準備物の整備を行った。また、災害ボランティアセンター設置運営に関する出前講座や訓練を実施し、市民理解の増進に努めた。

開催日	講　座　名	開　催　内　容
5 月 28 日(火)	四日市大学防災士講座	災害ボランティア講座、設置運営訓練
10 月 21 日(金)	四郷地区自主防災講演会	災害ボランティア講座
11 月 21 日(月)	内部地区防災訓練	災害ボランティア設置訓練
2 月 8 日(水)	四日市市社会福祉協議会災害ボランティアセンター設置運営訓練	災害ボランティアセンター設置運営訓練
3 月 22 日(水)	内部地区自主防災組織講演会	災害ボランティア講座

②災害ボランティア派遣事業

被災地で活動する災害ボランティアの登録を行うとともに、四日市大学と共催でボランティアバスを企画し、被災地への災害ボランティアの派遣を行った。また、四日市市や三重県社協の要請により、被災地の先遣調査および被災地の災害ボランティアセンターの運営支援を行った。

・災害ボランティア活動登録者・・・118 名

・災害ボランティア保険加入者・・・409 名

派遣期間	派遣先・内容	派遣及び参加者
4 月 20 日(水)～22 日(金)	熊本県菊池市、西原村、熊本市、嘉島町など、四日市市先遣隊被災地調査	職員 1 名
6 月 11 日(土)～17 日(金)	三重県ブロック派遣、熊本市南区災害ボランティアセンターの設置・運営支援	職員 1 名
7 月 1 日(金)～3 日(日)	四日市大学災害ボランティアバス	学生・社会人 29 名　職員 3 名
9 月 2 日(金)～4 日(日)	四日市大学ボランティアバス	学生・社会人 31 名　職員 1 名

③広域災害ボランティアセンター強化事業

近隣市町 3 市 3 町（四日市市、鈴鹿市、亀山市、川越町、朝日町、菰野町）が大規模災害時に協力体制が取れるように、運営マニュアルや様式の調整を行うとともに、それぞれの市町の特性に合わせた連携体制が取れるように情報共有や訓練を行った。

開催日	内　容
11 月 16 日(木)	三泗鈴亀災害ボランティア担当者会議
2 月 9 日(土)、10 日(日)	三泗鈴亀社会福祉協議会職員研修会
2 月 17 日(土)	三泗鈴亀災害ボランティア担当者会議
3 月 5 日(月)	三泗鈴亀広域災害ボランティアセンター設置訓練

【福祉ボランティアのまちづくり事業　まとめ】

平成２９年３月３１日現在のボランティアセンター団体登録数は、１９３団体７，５６９名、また個人登録数は、１５９名であった。

登録について、団体数は昨年度とほぼ変わらず、活動分野は福祉分野を含め、多岐にわたっている。個人ボランティア登録者も活動状況はさまざまで、はじめてのボランティア説明会参加者も含め、状況に応じて登録や登録継続について確認している。

ボランティアコーディネートについては、依頼者側の「ボランティア」への理解や受け入れ状況について、双方で確認し合うべき点も多くあり、昨年度検討した依頼票を活用しながら、受け入れ側の理解をお願いしてきた。まだまだ、ボランティアは〝安価な担い手〟的な依頼も多く散見されるため、今後も引き続き課題の一つとして取り組み、コーディネート力をアップしていきたい。

事業としては、今年度新たに、2021 年の三重国体にあわせて開催される全国障害者スポーツ大会へ向け、多くの市民の方々に障害者スポーツの魅力を知っていただき、障害者アスリートを応援する機運を高めるため、障害者スポーツボランティア講座を実施した。広い年代層の方々にご参加いただき、一緒に楽しみながら、障害者スポーツを身近に感じていただく機会になった。今後も、2021 年に向け、障害者スポーツを広く知ってもらい、応援する機運を高める事業を継続して取り組んでいく。

さらに、ボランティア活動に興味を持ち、身近な地域で活躍できる人を増やすことを目的に、福祉活動拠点での講座を開催した。メニューの工夫により、さまざまな年代層にそれぞれ参加いたいたが、今後、地域での具体的な活動につながる工夫が必要であり、生活支援コーディネーター等ともさらに連携・調整しながら進めていく。

例年、期間（３月４日～３１日）を設けた四日市ボランティアキャンペーンを実施し、ボランティアの啓発とボランティア人口の拡大を図っている。期間を設定し、アルミ缶回収をするイベントということが、関係者のなかでは定着してきており、広報前から声をかけていただける状況もある。また、学校・企業からも期間を通じてご協力いただけた。今年度も、運営委員の方々の協力も得ながら検討し、啓発イベントに、よりたくさんの市民の方々に参加いただくため、アルミ缶アート作成団体を公募し、アルミ缶を利用しての遊びや実験コーナーを設置して実施した。例年とは違ったアート作品ができあがり、また運営委員のみなさんもより当日参加者とふれあうことができるなど、好評であった。しかし、会場利用調整や天候による不確実さ、また協力いただく運営委員の皆さんの負担増など、イベントの実施については課題も多く、ボランティアキャンペーンの実施内容について、検討の必要がある。また、高校生、大学生、専門学校生を対象にした、夏休み期間中のボランティア体験プログラム（サマーチャレンジ）を昨年に続いて実施した。ボランティアの魅力を伝えるとともに、ボランティア活動者の育成を図ることを目的にしている。今年度は、ふりかえりを「ボランティアのつどい」にあわせて、体験以外の活動や、実際の活動者の話などにもふれる企画とした。今後も引き続き、多くの学生の参加が得られるよう企画の充実をはかりたい。

事業実施の他、ボランティアセンターの重要な業務のひとつであるコーディネートのより充実を図るために、コーディネートに関わる関係機関が集まってコーディネートを考える会議を開催し、ボランティアに関する課題の抽出や情報交換・情報共有を行い、これからの方向や進め方についてアドバイスをいただいた。さらに、企業や学校との連携を、ホームページの充実や顔の見える関係づくりをさまざまな事業や機会を通して図っていきたい。

３．ふれあいのまちづくり事業

地区社会福祉協議会（地区社協）への具体的な支援として、３ブロック（北部、南部、中部）別の会長会議を開催し、課題を抽出、地区社協の方向性の検討をすすめた。生活支援コーディネーターやふれあいいきいきサロン推進員を中心に、地域包括ケアの推進するために地区社協の役割を明確化し、ふれあいいきいきサロン活動を中心とした小地域の交流の機会、介護予防活動を推進していくために、各地域でふれあいいきいきサロン連絡会や福祉座談会などを開催した。福祉協力員やふれあいいきいきサロンリーダーと連携し、住民自らの福祉活動が展開されるよう支援をすすめた。

さらに、各地区民生委員児童委員協議会へ参画し、地域の福祉課題の解決に向けた活動を支援した。

総合相談事業では、気軽な市民の福祉相談の窓口として、さらには処遇困難事例等への相談体制も充実していくなど包括的な福祉総合相談の担い手として関係機関との連携を密に取りながら問題解決や福祉ニーズの把握に努めた。

（１）地区社会福祉協議会支援

地域において、地域福祉活動を推進していく基盤となる地区社協との連携強化に努めた。

①地区社協への運営費等の助成

（ア）地区社協組織活動補助金…１地区　40,000 円。支部（校区）社協を組織化している地区については１支部（校区）社協につき 8,000 円を加算。
（イ）地区社協事業費補助金…地区の世帯数による
（ウ）地域福祉活動メニュー事業補助金…実績方式
（エ）共同募金交付金…目標額の２１％と超過額の９０％

②地区社協指導者研修会等の実施

（ア）地区社協連絡協議会　全体会議・・９３名出席
平成２８年６月２８日（火）　市総合会館　８階視聴覚室
内容　１．会長・副会長の選任について
２．市社協評議員の選出について
３．指導者研修会の開催について
４．市社協　補助金について
５．情報提供・出前講座の案内
○「介護予防・日常生活支援総合事業」について
○「四社協福祉ゼミナール」について
○「市社協　出前講座」について
○「ボランティア活動保険」について

（イ）地区社協リーダー研修会／補助金説明会・・１０１名出席
平成２９年２月２２日（水）　四日市市勤労者・市民交流センター
内容　１．地域包括ケアの取り組みと四日市の現状報告
２．平成２９年度補助金について
○四日市市介護・高齢福祉課より
○四日市市社会福祉協議会より
・ふれあいいきいきサロン補助金の変更について
３．グラウンドゴルフ大会について

（ウ）地区社協ブロック別　会長会議
平成２８年８月１９日（金）：北部、８月２２日（月）：中部、８月４日（水）：南部
内容　１．四日市市社協事業報告について
２．全体事業（グラウンドゴルフ大会）について
３．ふれあいいきいきサロン補助金の変更について
４．地域ケア会議への参画について
５．情報交換
平成２９年１月３０日（月）：北部、南部　　１月３１日（火）：中部
内容　１．全体事業（グラウンドゴルフ大会）について
２．平成２８年度補助金の変更（ふれあいいきいきサロン補助金）について
３．リーダー研修会について
４．意見交換

（エ）全体事業（グラウンドゴルフ大会）の開催
グラウンドゴルフ実行委員会の開催
第１回実行委員会・・平成２８年12月７日（水）
第２回実行委員会：：平成２９年１月１１日（水）
大会：平成２９年３月３日（金）　四日市ドーム
参加人員…１８３名（北部６６人、中部：５０人、南部６７人）

（オ）小地域福祉活動ホームページの開設
市社協ホームページに「小地域活動応援サイト」の運営

③福祉協力員等活動費補助事業の実施

地域福祉活動の推進者である福祉協力員等の活動のより一層の促進を図るため、運営費20,000円、活動費として福祉協力員等１名につき年間3,000円（上限80,000円）を補助し、活動を支援した。

・実施地区（１４地区）
共同、中央、港、橋北、海蔵、羽津、富田、下野、三重、桜、川島、神前、内部、大矢知

・地域ゼミナールの実施（１４地区）
福祉協力員により各地域で福祉勉強会を実施した。

④地域福祉活動メニュー事業の実施

平成８年度から地区社協に対する具体的な支援として「地域福祉活動メニュー事業」を開始した。平成１０年度からは、対象を小学校区に組織化されている地区社協に拡大し、平成１２年度からは、高齢者などの介護予防や地域での交流・出会い、憩いの場としての「ふれあいいきいきサロン」活動を進めていくための運営費や、新規に活動を立ち上げる資金を支援するメニューを加えた。また各地区社協の福祉活動状況や地域特性を踏まえて、それぞれの地域課題を明らかにし、地区社協の取り組みに際し、事業の企画段階から市社協職員が参画して、支援を行ってきた。

（メニュー内容）

・学習・啓発事業
・交流事業
・ふれあいいきいきサロン事業

●学習・啓発事業　　１０地区（支部を含む）　１９ メニュー　　（27年度：１２地区　１５メニュー）

地区	事業名	内容	人数
共 同	視察研修	役員研修「AJU自立の家」	36
	福祉勉強会	演題「こどもへのまなざし」講師を招いての勉強会	26
浜 田	福祉勉強会	演題「赤ちゃんポストが投げかけたもの」講師を招いたの勉強会	350
	福祉講演会	演題「やってみるからはじめよう」講師を招いての勉強会	340
橋 北	福祉講演会	演題「介助犬パフォーマンス」講師をまねての勉強会	100
八 郷	高齢者大学	演題「八郷の歴史よもやま話」講師を招いての勉強会	104
	高齢者大学	演題「終活・・元気なうちにできること」講師を招いての勉強会	98
	高齢者大学	シニアに必要なマネー塾	40
八郷西	高齢者大学	シニアに必要なマネー塾	40
	環境教室	子ども陶芸教室	20
桜	史跡めぐり	桜地区内の史跡をめぐり郷土歴史学習	70
	バードウォッチング	身近な自然を観察して環境学習	52
高花平	健康講演会	演題「認知症にならないために」講師を招いての勉強会	40
	健康講演会	演題「効果的なコーチングとは？」講師を招いての勉強会	40
河原田	環境教室	講師を招いて講演会とうちわづくり	24
日 永	環境教室	講師を招いて講演会と日永うちわづくり	30
神前	福祉委員研修会①	演題「地域包括ケアをすすめていこう」講師を招いての勉強会	42
	福祉委員研修会②	体験「グラウンドゴルフの活動をすすめよう」体験会	35
	福祉委員研修会③	演題「ボランティア活動をすすめよう」講師を招いての勉強会	28

●交流事業　　２０地区（支部を含む）　４４ メニュー　　(27 年度：１９地区　３５メニュー)

地区	事業名	内容	人数
共 同	ぬくもりの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会、体操やバイオリン演奏を楽しむ	86
	ふれあい広場	地域の関係機関が一同に会し、交流するイベント。小中学校のブラスバンドや諏訪太鼓の演奏	750
同 和	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会、介護講座、マジックショー	30
同和・中央	三世代交流もちつき大会	中央地区、同和地区の共催事業。ゲーム、もちつきなど	210
中 央	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会、出前講座、ロコモ体操	52
港	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会、マンドリンの演奏	80
	ふれあい広場	地域の方のふれあいイベント、福祉講演会、お菓子づくり、うどんの振る舞いなど	300
浜 田	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会	70
	餅つき交流会	地域のだれでもが参加できる交流の場として餅つきやゲームなど	480
海 蔵	小学生と七夕交流会	海蔵小学生と高齢者の交流事業。七夕の飾りつけなど	160
羽 津	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会、諏訪太鼓演奏やリズムメイトによる歌と演奏	100
富洲原	グラウンドゴルフ大会 春	地域住民を対象としたグラウンドゴルフ大会	96
	グラウンドゴルフ大会 秋	地域住民を対象としたグラウンドゴルフ大会	82
	ウォークラリー大会	地域住民を対象としたウォークラリー大会	300
八郷	八郷西グラウンドゴルフ大会	地域住民を対象としたグラウンドゴルフ大会	66
	囲碁大会（納涼・新春）	地域住民を対象とした囲碁大会	15
	夏休み子ども工作まつり	地域の子どもを対象とした工作教室	100
県	ふれあい文化祭	地域住民全体事業。講演会、大道芸、作品展示、サークル発表等	500
	綱引き選手権大会	地域住民全体事業。綱引き後ぜんざいで交流。	250
桜	リフレッシュ健康体操	高齢者の転倒予防、介護予防や認知機能向上のためのエクササイズ	35
	さくらふれあいまつり	福祉施設との交流会。手品、歌など	115
川 島	川島町北部第一親睦会	地域住民を対象としたグラウンドゴルフと昼食会	76
	親睦もちつき大会	ひとり暮らし高齢者との交流	100
神 前	カラオケ大会	高齢の方でカラオケを楽しまれている方の発表会	95
	盆おどり大会	地域住民全体事業。盆踊り、屋台、カラオケ等	550

四　郷	共栄作業所との交流会	福祉施設との交流会	90
高花平	保育園児との交流会①	高齢者と保育園児との交流会	100
	保育園児との交流会②	高齢者と保育園児との交流会	100
	保育園児との交流会③	高齢者と保育園児との交流会	100
	幼稚園児との交流会④	高齢者と幼稚園児との交流会	100
	幼稚園児との交流会⑤	高齢者と幼稚園児との交流会	100
	幼稚園児との交流会⑥	高齢者と幼稚園児との交流会	100
常　磐	地区在住のろう者との交流会1	健常者と障がい(ろう)者との交流やバーベキュー	12
	地区在住のろう者との交流会2	健常者と障がい(ろう)者との交流やもちつき	14
河原田	障害者ふれあいの集い	在宅障害者の方が伊賀忍者村へ招待して交流	12
	梅林ウォーキング大会	ウォーキングを通じて地域住民の健康と親睦	40
日　永	ひとり暮らし高齢者の集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流	409
塩　浜	イキイキふれあい GG 大会	地区内高齢者の方とグラウンドゴルフを通じて世代間交流	113
	ノルディックウォーキング	ノルディックウォーキングで地区内をウォーキング大会	48
	ふくしサロン	地区の高齢者を対象とした交流会	90
	ふくしサロン	地区の高齢者を対象とした交流会	96
	人権福祉講演会	地域の方に漁師汁を振る舞い、音楽を楽しむ	61
	新春落語会	落語を通して世代間交流を図る	94
楠	ふれあい農園	農作業を通して世代間交流を図る	20

●ふれあいいきいきサロン　　３４地区（支部を含む）　４６７ サロン

(27 年度：３３地区　４２２サロン)

	地区名	回数	参加者数	サロン名	サロン数
1	共　同	514　回	5,001　人	いろは会(グランドゴルフ・健康体操・絵手紙)、諏訪栄いきいきサロン、ふれあいいきいきサロン、サロン時計台(編み物、ラジオ体操、太極拳)、中部スマイルきょうしつ(子育て・学習)	11
2	中　央	22　回	522　人	中央地区ふれあいサロン、新町おしゃべりサロン、ほほえみクラブ(カラオケ・茶話会)	3
3	港	50　回	803　人	歩こう会、港地区いきいきサロン、笑和ホネホネクラブ、お茶を楽しむ会	4
4	浜　田	201　回	2,820　人	笑話会、ふれあいおはなし会、愛好家、浜田地区ロコモーショントレーニングの会	4
5	同　和	53　回	902　人	あんずの会、同和地区社協カフェサロン	5
6	橋　北	12　回	770　人	にこにこサロン日曜給食サービス	1

7	海 蔵	332 回	3,682 人	折り紙サークル、高齢者パソコン教室、おどり愛好会、お達者クラブ：ストレッチ体操、カラオケ愛好会、書道サークル、茶道サークル、グランドゴルフ、茶のみ友の会、音楽療法の会、カフェサロン	12
8	羽 津	47 回	797 人	エミ(笑み)の会、ふれあいサロン「仲良し会」、城山・いきいきクラブ、サロンほんごう	4
9	富洲原	20 回	689 人	いきいきサロン転ばぬ先のおもり、ふれあいサロン松原きらく会	2
10	富 田	868 回	14,622 人	ボランティア委員会、富田宅老所 ひだまり、いこいのサロン、すみれサロン、うたおう会、なかよしクラブ、パソコン教室、富田グラウンド愛好会、浜地区グラウンドクラブ、ラジオ体操クラブ、伊勢音頭を楽しむ会、いきいき健康舞踊体操クラブ、カラオケクラブ、パソコン何でも相談室、おやじサロン、みどりの芝生、にこにこクラブ	19
11	大矢知	728 回	9,166 人	松寺寿会、ゲートボール愛好者の集い、松寺お達者クラブ、蒔田グラウンドゴルフ、なごみクラブ、松寺ふれあい手芸クラブ、十志町ものづくりの会、蒔田なかよしサロン（絵手紙・手芸・ちぎり絵・園芸）、知りたい輪（ものづくり、講座）、御殿まりをたのしむ会、松寺若葉会、わいわいがやがやクラブ、川北キング、ほっとサロンいきいき、エンドレス、グラウンドゴルフ愛好会、十志町健康づくりの会、下之宮そよ風サロン、下野宮ハピネスサロン	23
12	八 郷	531 回	7,264 人	蕗のとう、きらく、懐かしい歌を楽しみませんか、あじさい広場、ミュージックベルの会、いきいき体操、ふれあいサロン、平津あゆみの会、すくすく Kid's、さるびあ会、グー・チョキ・パー、虹の会、ぼちぼち庵、平津新町おしゃべりカフェ、琴仙会、太極拳サークル、ベルの会、伊坂台お達者クラブ、パソコン広場、八郷元気会、平津新町お達者クラブ、平新歌のもくいち、こすもす会、平津新町詩吟クラブ、中村町お達者クラブ、楽笑会、さくら手芸教室	26
13	八 郷 (西)	452 回	5,685 人	ふれあい映画会、すみれ会、ふれあいランチタイム、たんぽぽの会、八郷西もみじクラブ、おたまじゃくしの会、暁風会、八郷西陶芸クラブ、トマリ会、八郷西子ども文庫、ひまわり会（コーラス・手芸・体操）、陸会、和の会、さくらの会、八郷西ふれあいサロン	18
14	下 野	508 回	7,916 人	下野・障害（児）あゆみの会「ふれあい」、山城町 詩吟クラブ、卓球本間グループ、コーラス「和み」、あさけが丘1丁目卓球愛好会、グランマ、ボランティアグループ「梨の実会」、ワイワイクラブ勉強会、太極気功、あさけヶ丘グラウンドゴルフ、札場町グラウンドゴルフ、北山町グラウンドゴルフ、下野活き域ネットあつまろまいか	11
15	保 々	4 回	393 人	ふれあいサロン「桑の実」	1
16	三 重 (中央)	452 回	8,368 人	川向グラウンドゴルフクラブ、生桑町グラウンドゴルフクラブ、東坂部町 グラウンドゴルフ愛好会、山之平グラウンドゴルフ同好会、寺小屋（健康体操）、生桑町ふれあいサロン、輝サロン、御館グラウンドゴルフクラブ	8

17	三 重 (西)	1,626 回	26,522 人	三重西ふれあいサロン スマイル健康ストレッチ、結、三重三丁目友好会、三重西ラジオ体操同好会、花植え研究・愛好会、エミ(笑み)の会(ラジオ体操、おしゃべり会)、三重5丁目ラジオ体操グループ、美里ガ丘カラオケ愛好会、第2美里ヶ丘ラジオ体操愛好会、第2美里ヶ丘親睦会、美里が丘わかば会、三重六丁目ラジオ体操同好会、ななの会、金曜クラブ料理教室、3 丁目友好会いきいきマージャン教室	16
18	三 重 (北)	1,174 回	14,989 人	山之一色町グラウンドゴルフ 愛好会、介護予防の会「さえずり会」(手芸・歌・体操・元気サロン1丁目)、坂部が丘五丁目フリークラブ(グランドゴルフ男女・カラオケ・ヨガ体操)、大沢台さつき会(グランドゴルフ・麻雀・太極拳・歌の会・大正琴・手芸・ラジオ体操)、元気サロン 1 丁目、坂部が丘五丁目フリークラブ、坂部が丘四丁目生き生きクラブ、坂部が丘 1 丁目グラウンドゴルフ、GOGOヨガサークル、坂部が丘タウンパクパク会	19
19	大谷台	1,003 回	12,031 人	ふれあいいきいきサロン小杉新町(雑談、ラジオ体操)、いきいきサロン福寿会垂坂第 2、みゆきヶ丘一丁目熟年会「いきいき健康サロン」(コーラス、百人一首、読書)、いきいきサロン木曜会みゆき2、いきいきサロン大谷台、大谷台2丁目いきいきサロン長寿会(グランドゴルフ、太極拳・フィットネスタイチ、生花、囲碁、健康イキイキクラブ)、南垂坂町シニアクラブ(歩こう会、生花教室、グランドゴルフ、カフェ)、いきいきサロン大空、いきいきサロンお達者クラブ、イキイキサロン小杉長寿会(グランドゴルフ、ヨガ体操)、いきいきサロン・タルサカ、いきいきサロン・大谷台ヨガ、いきいきサロン・大谷台ファミリーバドミントン、いきいきサロン・垂坂グラウンドゴルフ愛好会	25
20	県	952 回	14,545 人	赤水町ふれあいいきいきサロン、五月会(大正琴)、いきいきサロン寿会、平尾町ふれあいいきいきサロンふるさと広場、ふれあいクラブ、栄ゲートボールクラブ、栄グランドゴルフ、栄手芸クラブ、ハイツにこにこ会、スイトピー(大正琴)、あがたゲートボールクラブ、大沢いきいきサロンお達者倶楽部、いきいき体操仲良会、平尾町(グラウンドゴルフ同好会、グラウンドゴルフ愛好会、グランドゴルフ仲良会、赤水町グランドゴルフ仲良会、北黒江グランドゴルフ愛好会、カラオケ仲良会、ヨガ仲良会、上海老手芸クラブ、書・小野小町、大沢手芸鶴の会	22
21	桜	255 回	4,139 人	憩いの家、駅前憩いの家(健康講座・健康体操と歌・手芸・映画鑑賞)、山上いきいきサロン(パッチワーク・映画・音楽会・健康体操)、桜花台ふれあいサロン(健康体操)、ボランティアグループわかば会、ミニデイサービスともだちの和、桜南ほかほかくらぶ、のびっこ、智積ふれあいイキイキサロン、一色いきいきサロン、ほっとカフェ“ぽかぽか”、桜台3丁目交流サロン、編みあみサークル、桜台PCサロン、さわ会、さわやかイキイキ教室	20

22	川 島	292 回	5,371 人	なんぶ熟、川島福祉ふれあいいきいきサロン、、川島映画劇場、ゆーらくサロン（けやき台）、けやき台カラオケ会、けやき台グランドゴルフ、西部ふれあい会、三滝台卓球クラブ木曜会、三滝台グランドゴルフ倶楽部、三滝台サロン「ふれあい」、いきいきサロン絆、けやきクラブ、川島新町悠遊サロン、さくら熟年会	14
23	神 前	988 回	16,471 人	菅原町ふれあい広場（生け花・卓球・グランドゴルフ）、寺方町一区 ふれあい広場（グランドゴルフ・カラオケ・お達者クラブ）、高角町ふれあい広場、曽井町ふれあい広場、尾平町ふれあい広場（カラオケ、卓球）、上名ヶ丘ふれあい広場（お達者クラブ、話そう会、ふれあい体操、卓球）、美里ヶ丘ふれあい広場（イベント、ラジオ体操）、寺方町二区ふれあい広場、暮らしの応援隊「より曽井サロン」、高角町グラウンドゴルフ会、高角グラウンドゴルフかきのした、尾平どんぐりクラブ、YYクラブ、曽井町グラウンドゴルフ会、パッチワーク、曽井町ピンポンズ、高齢者「サロン尾平」、大日 café サロン、笑話会ふれあい広場、カフェあったかつの	27
24	常 磐	789 回	9,044 人	きらめきサロン（カラオケ・ストレッチ・グランドゴルフ・生け花）、久保田ふれあいの会（手芸・楽器）、西松本町ふれあいサロン（生け花・囲碁・お茶べり会・花壇つくり・グランドゴルフ）、青葉町生き生きサロン（ピンポン・グランドゴルフ・水墨画・生花・カラオケ）、いぐらふれあいの会、いきいきサロンほほえみの会、まつもとイキイキクラブ、青春映画サロン西伊倉、城東シニアクラブ（菜園作業・[囲碁・将棋]・お話会）、ときわ３丁目ふれあいサロン（イベント、囲碁将棋、太極拳、体操、よみきかせ）、ときわ５丁目ふれあいサロン	27
25	四 郷 (旧四郷)	298 回	5,432 人	ふれあいいきいきサロンやんばいやね（手芸）、いきいきサロン悠友室山（フォークダンス・お達者クラブ・歌の会・介護センター講和・足裏健康法と食育）、いきいきサロン「きずな」（グランドゴルフ）、出雲の森（グランドゴルフ・フォークダンス）、小鹿が丘ふれあいいきいきサロン「かのこ」	12
26	四 郷 (笹川)	543 回	12,462 人	ごらくクラブ、なでしこ会、ふれあいサロンわかさ、笹川ポプラの会、桜の会、おしゃべりサロン、いきいきサロン微笑、いきいきサロン「かがやき」（カフェ）、和みの輪	14
27	四 郷 (高花平)	624 回	7,182 人	昭和サロン、絵手紙教室、いこいっこ（囲碁、謡曲、パソコン教室、おしゃべり会、お話し会、手芸）、ミニ福祉教室、生活リハビリお達者教室、小林町 ほほえみ会、小林町ラジオ体操愛好会、高花平ラジオ体操愛好会	14
28	小山田	458 回	5,317 人	西山町はればれクラブ、小山町グランドゴルフ健康会、鹿間町元気になる会、和無田町撫子会（カラオケ）、子育てひろば、山田町（高齢者教室健康体操、囲碁・将棋、100年史を語る会）・ひだまりカフェサロン、堂ケ山町グランドゴルフ、大正琴（小山田琴友会）	12
29	水 沢	249 回	2,189 人	葉穂の会水沢、起勢の会、青葉会、笑顔の会、そば打ち同好会、、水沢クプナ・フラ、水沢茶どころ吟詠会、茶っ都水沢、茶の実の会♭ふらっと♭、墨楽会、水沢子育てサロン	11

30	日 永	1,123 回	22,916 人	元気火曜日会、猿法師ラジオ体操同好会、泊山南部たけクラブ、サロンきらら、アロハサークル、追分町つくし会、小柳町カラオケ同好会、えがお、青空サロン、ミニデイサービス ふれあい会、陽だまり、グランドゴルフ新町クラブ、絵手紙教室どんぐりの会、スマイルサロン（健康体操）、ついたち会第4クラブ、気功を楽しむ会、ひまわりサロン、前田新町体操教室いきいきサロン、お達者クラブ、前田新町カラオケ教室いきいきサロン、花と緑いっぱい教室きららいきいきサロン、永宮町健康サロン、三角公園美化クラブ「四季花の会」、社交ダンスキラキラ、キラリ小柳、泊小柳町和楽サロン	22
31	塩 浜	701 回	11,970 人	グランドゴルフ若竹会、竹の子会A、竹の子会B、川合町なかよし会A、川合町なかよし会B、七つ屋町自治会ふれあい広場福寿草A（いきいき会・お達者クラブ・グランドゴルフ）、七つ屋町自治会ふれあい広場福寿草B、海山道町ふれあいサロン（熟年ふれあい広場）、海山道町ふれあいサロン（イキイキ健康体操教室）、馳出町イキイキサロン、いきいき“絆”つくり、ふれあいの集い、お達者クラブ磯津（ストレッチ）、お達者クラブ磯津北、お達者クラブ磯津西、磯津町ふれあいサロン、大里町お達者クラブ、大里町カラオケ同好会、大里町グランドゴルフ愛好会、ポエム小浜（七宝教室・グランドゴルフ）、遊遊倶楽部、ふれあいサロン「ほっと」、さゆり会、中里町ふれあいいきいきサロン、馳出町ふれあい広場	31
32	内 部	504 回	6,124 人	がらがらどんの会（森力山町）、あったか交流サロン、北小松ふれあいいきいきサロン高齢者及びチビッ子教室、歌の会小古曽教室、小古曽グランドゴルフ愛好会、ニコニコヨガ教室、ハツラツ詩吟教室、ふれあいピンポン、キッチンフレンド、オゴソシスターズ、フラダンスの会、南小松グラウンドゴルフ、仲良し会	13
33	河原田	34 回	891 人	すくすくサロン、いきいきサロンあすなろ会、、いきいきサロン 貝塚町、いきいきサロンオレンジ	4
34	楠	105 回	2,540 人	栄町街角くらぶ、錦町・昭和町街角くらぶ、北本町街角くらぶ、南本町街角くらぶ、旭町街角くらぶ、幸町二区街角くらぶ、吉崎ふれあい街角くらぶ、街角カフェ、開栄町お達者クラブ、緑樹会、東本郷わいわい会、東町高齢者会議	12
	合 計	16,512 回	249,535 人		467
	27 年度	16,004 回	266,334 人		422

（２）地域福祉活動支援

①福祉コミュニティーの推進

地区民生委員児童委員協議会への参画等をとおして、各地域の社会資源や福祉課題の整理を行った。

②包括的な相談窓口の設置（第５次地域福祉活動計画バージョンアッププロジェクト関連）

成年後見制度や権利擁護事業に関わる相談のみでなく、制度の狭間で支援の行き届かないケース等に柔軟に対応できるように本事業に関する相談窓口の一本化を図り、包括的な相談窓口を設置し、複数の関係機関につなぐプラットホーム的な役割を担った。また、支援機関につなげるための支援「つなぎ支援」を実施。制度の隙間に対応できるように研究をすすめている。相談件数は年々増加傾向にあり、相談内容は多様化と多問題化しており他職種な関係者との連携が求められている。

●包括的な窓口相談

年　度	新規相談件数
27 年度	４９０件
28 年度	５５７件

●つなぎ支援相談対応内訳

年　度	訪　問	電　話	来　所	その他	合　計
27 年度	１，５３３件	２，２８６件	２２５件	９５７件	５，００１件
28 年度	１，７１２件	３，０３０件	３２０件	１，４９０件	６，５５２件

③成年後見サポートセンター

・地域後見サポート事業

市や福祉・司法関係機関との連携を図り、市民からの成年後見制度に関する相談や成年後見制度を必要とする人々の支援を行う事業を実施した。

年　度	支援実人数
27 年度	２８１人
28 年度	３４５人

④調査研究事業

包括的な相談窓口における困難事例として、病院入院や施設入所の際の身元保証や緊急連絡先への対応が課題となっている。しかし、既にこれら身元保証等への先駆的な取り組みを実践している社会福祉協議会もあり、四日市市における必要性と事業化に向けた検討に着手した。

●身元保証に関する入所施設聞き取り調査

実施施設数	４８か所	市内高齢者福祉施設、 サービス付き高齢者住宅等の有料老人ホーム

＊緊急時の対応や入退所時の手続きやサービス費の支払いなど、第三者支援の要望大。

・事業調査研究会の実施

調査研究委員：学識経験者、法律家、医療関係者、施設関係者、在宅介護支援センター、行政職員で構成

調査研究会の実施

第１回　平成２９年１月２６日（木）・・先進事例、現状確認、モデル事業の提案

第２回　平成２９年２月２８日（火）・・入院や医療同意等の課題について

⑤権利擁護の啓発の機会の実施

・専門職向け権利擁護に関する啓発研修講座の実施

在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所の相談員向け講座として福祉に関係する法律的な事例をもとに権利擁護の勉強会を実施した。

開催日時：平成２９年２月２８日（火）
開催場所：総合会館８階 第４会議室
講師：熊田法律事務所　弁護士　熊田　均　氏
参加者・・２０人　（在宅介護支援センター職員、ケアマネジャー等）

⑥法人後見受任

地域後見サポート事業運営委員会を設置し、専門職後見人の選任が難しいケースなどの法人後見人を受任した。課題を多く抱えるケースや後見人が不足した際のセーフティーネットとして、法人が後見人となり、市民と後見活動を協働できる仕組みの検討をすすめる。

内　容	件　数
受任支援	１３人

相談対応内訳

年　度		訪　問	電　話	来　所	その他	合　計
27 年度	相談支援	３３４件	５０６件	４３件	２０３件	１，０８６件
	後見人支援	４１件	４３件	５８件	１１件	１５３件
28 年度	相談支援	２１０件	３３０件	３８件	１５８件	７３６件
	後見人支援	１０件	１７件	１７件	５件	４９件

⑦生活困窮家庭支援、リユース事業（第５次地域福祉活動計画バージョンアッププロジェクト関連）

生活困窮家庭に対する生活用品の貸与等をすすめるリユース事業を実施した。関係している利用者から不要で使用可能なものをお預かりし必要な方にお渡しする仕組みで実施。神前地区拠点を倉庫にしてマッチングをおこなった。

企業の社会貢献活動との協働事業として、当会独自のフードバンク事業を試行した。企業から提供いただいたカップ麺やお米等を地域後見サポート事業や日常生活自立支援事業等で支援を行っている生活困窮家庭に提供し、生活の再建のきっかけとした。

内　容	おもな内訳	件数（述べ）
カップ麺やお米等の食材提供	お米：８８kg、パックごはん：３８パック、レトルトカレー：２２０袋、カップ麺：１０３個、缶詰：２１８缶　他	７１件
生活物品	炊飯器、掃除機、ベッド、テレビ、電子レンジ等	２４件

⑧なるほど出前講座の開催（第５次地域福祉活動計画バージョンアッププロジェクト関連）

福祉に関する情報や制度についてわかりやすく情報発信するしくみとして、出前講座を開始した。　（開催　３５回　　人数　１，３７４人　（27 年度：３４回　　１，１３５人））

No	開　催　日	主　催	内　容	人数
1	4 月 29 日(祝)	内部長寿会連合会	介護保険の上手な使い方	38 人
2	5 月 11 日(水)	三重北校区社協	三重北校区社協総会:介護保険改正と地域福祉	50 人
3	6 月 13 日(月)	三重地区社協	三重地区福祉協力員研修会(1)	20 人
4	6 月 16 日(木)	共同地区福祉協力員会	共同地区地域福祉ゼミナール	10 人
5	6 月 18 日(土)	南部民児協	南部民児協研修会	100 人
6	6 月 19 日(日)	下野大鐘楽寿会	地域福祉、高齢者福祉	42 人
7	6 月 25 日(土)	桜地区社協	新役員研修会	50 人

8	6 月 27 日(月)	ユマニテク福祉大学校	「ボランティア」と活動の基本姿勢	23 人
9	7 月 8 日(金)	健康づくり課	ボランティア活動と心構え	40 人
10	7 月 10 日(日)	四日市大学	防災士講座	50 人
11	7 月 11 日(月)	三重地区社協	三重地区福祉協力員研修会(2)	20 人
12	7 月 15 日(金)	四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会生活支援部会通所事業所連絡会	成年後見制度・日常生活自立支援事業について	25 人
13	7 月 17 日(日)	馳出・宮東・宝町自治会	地域福祉、高齢者福祉	30 人
14	7 月 17 日(日)	中堀町高齢化対策メンバー	介護保険について、サロンの取り組み等	20 人
15	8 月 20 日(土)	八郷西社協	これからの介護保険のしくみ	50 人
16	9 月 5 日(月)	笹川８丁目自治会	これからの地域で必要な活動　総合事業について	50 人
17	9 月 25 日(日)	内部地区市民Ｃ	地域包括ケアシステム勉強会	53 人
18	10 月 21 日(金)	四郷地区自主防災協議会	地区防災講演会	100 人
19	11 月 10 日(木)	中堀町ふれあいサロン	老後の不安を考える	30 人
20	11 月 16 日(水)	名古屋市立大学人文学部	現代社会と福祉	35 人
21	11 月 18 日(金)	神前地区社協	地域福祉活動に関すること	27 人
22	12 月 4 日(日)	県立北星高校	福祉に関する講話	31 人
23	12 月 21 日(水)	三重地区ぬくみ実行員会	ぬくみ学校「認知症になった後の財産管理」	50 人
24	12 月 22 日(木)	健康づくり課	ボランティア活動と心構え	50 人
25	1 月 9 日(祝)	海蔵地区福祉協力員会	福祉講座　総合事業について	21 人
26	1 月 21 日(土)	四日市市博物館	ボランティア活動とは	30 人
27	1 月 23 日(月)	桜地区社協	地域力アップ講座「桜の地域力を考える」	65 人
28	1 月 28 日(土)	市危機管理室	四日市市防災大学「ボランティアについて」	60 人
29	2 月 14 日(火)	共同地区福祉協力員会	共同地区地域福祉ゼミナール	10 人
30	2 月 16 日(木)	水沢在宅介護サービスセンター	水沢学校	30 人
31	2 月 24 日(金)	東橋北福祉協力員	福祉勉強会	14 人
32	2 月 25 日(土)	桜地区社協	「介護保険と高齢者施策」講座を振り返り	60 人
33	2 月 27 日(月)	川島地区社協福祉厚生部	地区の現状と川島Ｖ団体の活動を考える	10 人
34	3 月 17 日(金)	中央地区社会福祉協議会	民生委員・福祉協力員合同研修会	30 人
35	3 月 23 日(木)	桜地区社協	地域力アップ講座番外編	50 人

（３）四日市市福祉教育大学

①四社協福祉ゼミナールの開催

福祉の考え方の基本視点を見つめなおす機会・福祉の最新情報や専門知識を学ぶ場として開講し、ふだんのくらしのしあわせについて考える市民（福市民）の養成を行った。また、福祉協力員の研修の機会も兼ね、興味のある講座のみの参加も可能な形で実施。全体で５８名の参加があり、福市民として５１名が登録した。

開 催 日	内　　容	参加者
第１回 9 月 19 日（祝）	開講式、講座 ～団塊・シニア世代が主体的に学習＆社会貢献することの意義～ 大阪教育大学　新崎 国広　氏	45 人

第2回 10月17日（月）	「総合事業をこれからどのようにすすめていくか？」 四日市市社会福祉協議会　生活支援コーディネーター	45人
第3回 11月21日（月）	「地域包括ケア四日市に求められる活動を作ってみましょう」 皇学館大学　　板井 正斉　氏	45人
第4回 12月19日（月）	「CSWと協働で実践している地域での助け合い活動　実践者報告」 下野活き域ネットの取り組みから学ぶ 理事長　谷口 欽衛　氏	35人
第5回 1月16日（月）	「今地域で求められている活動（市民活動・ボランティア）とは」 日本福祉大学　村上 徹也　氏	大雪のため中止
第6回 2月20日（月）	福市民のつどい 「生涯学習から市民福祉活動へ ～ゼミナールでの学びを実践につなげよう」 大阪教育大学　新崎 国広　氏	37人

②地域福祉ゼミナールの開催

福祉協力員等が組織化されている１４地区全てで、地域の福祉課題の共有と解決策を見出すことを目的に座談会を開催した。

③専門ゼミナールの開催

開催日等	内　　容	参加者
3月10日（金） 総合会館7階 第3研修室	日常生活自立支援事業生活支援員等養成講座 「地域で生活していくための権利擁護講座」 講師：(有) With A Will 取締役　市川　知律　氏 講師：心療センターひなが　ＰＳＷ　後藤　敦子　氏 講師：社協職員生活支援コーディネーター	４７人
3月29日（水） 総合会館7階 第3研修室	在宅介護支援センター職員向け コミュニティワーク視点で運営する地域ケア会議の意義、在り方 講師　金城学院大学人間科学部コミュニティ福祉学科 専任講師　柴田 学　氏	１５人

（4）生活支援コーディネーター

市域の生活支援コーディネーターと３つのブロックに生活支援コーディネーターを配置し、地域包括ケア実現にむけて拠点事業および地域ケア会議への出席等を通じて地域組織化事業を実施した。住民主体サービス団体の組織化と事業展開について各地域で提案しコーディネートを行った。

年　度	関係機関へのスーパーバイズ・連携	各種会議への出席	調査業務	地域社会づくり推進事業
27年度	９４６件	１４６件	１０件	５４件
28年度	１，４０３件	１８９件	４件	８７件

（5）地域福祉活動事業

①拠点事業

地域包括ケア事業の実施に向けて、拠点を活用したモデル事業を実施した。

・北地域拠点「よってこ家」

協力員３０名を中心に毎週金曜日に地域の交流拠点として「カフェサロン」と四日市市ボランティアセンターと連携した取り組みであるボランティア講座「まなび家」を開催した。

運営委員会や協力員のつどいを開催し地域拠点の在り方について検討をすすめた。

年　度	年回開催日数	開催延べ人数	一日平均参加人数
27年度	４８日	２，３３１人 (内 未就園児５５０人)	４９人
28年度	４４日	２，９６１人	６７．２人

・下野地域拠点事業

平成２８年４月から下野活き域ネットと協定を結び、住民参加型福祉サービスを協働実施。下野活き域ステーションを共同事務所として整備し、総合事業（訪問Ｂ、通所Ｂ）の実施に向けた準備を行った。また、総合事業の先進モデル事業として視察の受け入れや講師派遣等を実施した。

平成２８年度来所：２，８７０人

視察受け入れ地域：富田地区、八郷地区、三重（三重西）地区、塩浜地区、四郷（笹川）地区、四郷（高花平）地区、川島地区、神前地区

・神前地域拠点事業

神前地区（高角町矢合）の倉庫を無償で借受し、地域後見サポート事業や日常生活自立支援事業等で支援を行っている生活困窮者に対して、電化製品等を提供する生活困窮家庭支援・リユース事業の拠点とした。

（６）ふれあいいきいきサロン推進事業および住民主体サービスの推進

介護予防事業の取り組みとして、ふれあいいきいきサロン事業の調査研究を行った。また、介護保険制度改正に伴うふれあいいきいきサロン事業への支援策への円滑な移行に対する理解と対応ができるように各地区、各種サロンごとにコーディネートを実施した。特に住民主体サービスへ強化発展が可能なふれあいいきいきサロン活動については、社協協働サロン事業として調査研究をするとともに基盤の強化を支援した。

① ふれあいいきいきサロン補助金説明会の開催・・１５地区

② 社協協働サロン事業

ひだまり（富田地区）、サロン de シデガノ（羽津地区）、城東倶楽部（常磐地区）、ふれあいサロンわかさ（四郷笹川地区）、いこいっこ（四郷高花平地区）

③ 住民主体サービス団体連絡会議の実施

開催日等	内　　容	参加団体
8月29日（月） 総合会館7階 第1研修室	介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)の説明 モデル的な取り組みの紹介 意見交換会	14団体 50名
2月26日（日） 総合会館7階 第1・3研修室	介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)の説明 拠点整備にむけた福祉機器の紹介 実施モデル的な取り組みの紹介 住民主体サービス団体連絡会議の発足について 意見交換会	19団体 43名

（７）福祉総合相談事業

関係機関との連携を図り相談事業の充実に努めた。

・開設場所…市総合会館　２階　福祉総合相談室

・開設日　…月曜日～金曜日　午前８時３０分～午後５時１５分(年末年始、祝祭日を除く)

・相談件数…８１件

年　度	電　話	来　所	合　計
27年度	４８件	２２件	７０件
28年度	６４件	１７件	８１件

年　度	暮らし･住まい	家　族	健康・医療	人権・法律	教育・福祉	その他
27 年度	２２件	１４件	２２件	１件	４３件	１５件
28 年度	３４件	１９件	１３件	６件	４６件	１７件

※相談事項は重複

【ふれあいのまちづくり事業　まとめ】

各地区社会福祉協議会を中心とした地域福祉活動は、連絡協議会全体でのリーダー研修会やブロック会議、グラウンドゴルフ大会の開催などを通して各地区社会福祉協議会連絡や福祉関係機関との連携強化に取り組んだ。

今年度から、ふれあいいきいきサロン推進員を１名配置し、ふれあいいきいきサロンの活動の調査研究及び充実強化に努めた。実績として４６７グループが１６，５１２回参加延べ人数は２４９，５３５人となり介護予防の大きな柱として地域根付いた活動になりつつある。

昨年度から、生活支援コーディネーターを３名配置し、地域包括ケア実現にむけて拠点事業および地域ケア会議への出席等を通じて地域組織化事業を実施した。住民主体サービス団体の組織化と事業展開について各地域で提案しコーディネートを行った。

地域福祉活動事業として、地域拠点で住民参加型福祉サービスを協働実施し、総合事業（訪問Ｂ、通所Ｂ）の実施に向けた準備や先進モデル事業として視察の受け入れや講師派遣等を実施し、地域全体で支えるしくみづくりに取り組んだ。

また、四日市市社会福祉協議会独自の生活困窮家庭への支援としてフードバンク（食材提供）やリユース事業（家電製品の貸与）など、生活再建への支援をを実施した。

福祉人材の養成の機会としては、四社協福祉ゼミナールや地域ゼミナール、専門ゼミナールの３つのカテゴリーで福祉人材の養成および研修の機会を作り福祉人材の養成を図っている。

包括的な福祉総合相談窓口として､制度の隙間や支援者がいない方の支援体制として｢つなぎ支援｣を実施。福祉関係機関と協働で身元保証等の新しいセーフティーネットの体制作りとして調査研究事業を立ち上げ、四日市市における仕組みの必要性と事業化に向けた検討に着手した。

また､各地区民生委員児童委員協議会へ参画し､民生委員児童委員が取り組む高齢者､障害者（児）への支援､｢地域子育てネット０～６会議｣をはじめとする子育て支援活動等で明らかになった各地域の社会資源の把握や福祉課題の解決に向けた活動に対する支援を強化した。

引き続き､各地域の福祉課題解決に向けて､地区社協､民生委員児童委員､在宅介護支援センター､ボランティアなどとコミュニティソーシャルワークを実施強化していく。

４．福祉事業

市民の求める多様な福祉ニーズに対応するため、介護保険事業、障害者自立支援事業、地域福祉権利擁護事業、福祉施設管理運営事業等を実施し、利用者本位の福祉サービス提供に努めた。

（１）介護保険関連事業

①中地域包括支援センター

（ア）包括的支援事業

・総合相談支援業務及び権利擁護業務

本人、家族、近隣の住民、地域のネットワーク等を通じた様々な相談を受け、管内の在宅介護支援センターと連携し、相談内容に即したサービスや制度に関する情報を提供しながら対象者への個別支援を行った。また、高齢者の権利擁護の観点から支援が必要な方については、三泗日常生活自立支援センター等の関連機関と連携し対応を行った。（相談件数年間６，６４９件）

＜相談件数＞（件）

		本　人	家　族	その他	合　計
27 年度	来　所	７９	６６	３３	１７８
	訪　問	４，７２８	９７	４６	４，８７１
	電　話	２７３	３０７	３９０	９７０
	合　計	５，０８０	４７０	４６９	６，０１９
28 年度		本　人	家　族	その他	合　計
	来　所	３９	５２	１６５	２５６
	訪　問	４，８０３	１３４	１３２	５，０６９
	電　話	３０４	３７４	６４６	１，３２４
	合　計	５，１４６	５６０	９４３	６，６４９

上記のうち、高齢者虐待に関する相談件数　年間５５件

三泗日常生活自立支援センターと連携し対応を行った件数　年間２８件

・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

a　在宅介護支援センター中ブロック会議

管内の在宅介護支援センター間及び地域包括支援センターと管内の在宅介護支援センター間の連携・情報交換を目的に開催。今年度は、各地区で挙げられた地域課題をもとに、地区・圏域・市レベルそれぞれで取り組むべき課題の整理・解決方法についての意見集約を行った。（年３回）

b　介護サービス事業者との連携

四日市市介護保険サービス事業者連絡会の企画・運営等に参画し、介護支援専門員や、他の介護サービス事業者との連携を図り、質の高いサービスの提供を図るための研修会や情報交換を行った。また、地域密着型サービス事業所については、同事業所が開催する運営推進会議に積極的に参加して連携を図った。（介護保険サービス事業者連絡会への参加・年１１回、地域密着型サービス事業所運営推進会議への参加・年６３回）

c　中地域医療・介護ネットワーク会議の開催

医療と介護の「顔の見える関係づくり」による円滑な連携を推進するため、三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）、訪問看護ステーション、訪問リハビリ事業所、病院の地域連携室など医療分野の関係者と福祉・介護分野の関係者が一堂に会する会議を開催し、症例検討、グループワーク等を実施した。（年３回）

d　認知症高齢者等の地域支援体制づくり

認知症高齢者を支えるための基盤づくりとして、地域住民や企業・団体を対象にした認知症サポーター養成講座・フォローアップ講座等の開催、及び地域における認知症に対する理解の促進のための事業の調整及び協力を行った。（年２９回）

e　地域包括支援センター連絡会への参加

包括的支援事業の実施状況や介護予防事業の進捗状況の報告及び情報交換のために、市が開催する連絡会に参加した。（年１２回）

f　介護支援専門員に対する支援

随時地域の介護支援専門員からの個別相談に応じ、支援困難事例への助言やサービス担当者会議の開催支援等の対応を行った。また、介護支援専門員実務研修会等に派遣され、講義や演習を通じて、介護支援専門員への助言・指導を行った。（年４９回）

g　地域ケア会議準備会の開催・参加

在宅介護支援センター・生活支援コーディネーター・民生委員等の関係者と共に、地域課題の抽出とその解決方法についての協議を行うと共に、個別・地区地域ケア会議の実施に向けての具体的な検討を行った。（年４７回）

h　個別地域ケア会議の開催

在宅介護支援センター・生活支援コーディネーター・民生委員等の関係者と共に、個別ケースの検討を通じて、地域課題の抽出・課題解決方法についての協議を行った。（年８回）

ｉ　医療・介護連携地域ケア会議の開催

中地域医療・介護ネットワーク会議、世話人会に併せて開催。今年度は、在宅医療・介護における多職種連携に関するアンケート結果について協議を行うなど、多職種連携の課題抽出作業を行った。（年１０回）

ｊ　地区地域ケア会議への参加

在宅介護支援センター運営協議会や地域ケアネットワーク会議を通じて、または在宅介護支援センターが独自に地域の介護支援専門員や民生委員等を招集して会議を開催する等、管内の在宅介護支援センターが主催する会議に参加し、地域課題の抽出・課題解決方法の検討を行った。（年３９回）

ｋ　地域密着型サービス事業所運営推進会議等への参加

事業所による利用者の抱え込みを防止するとともに、地域の連携が確保され、かつ地域に開かれたサービスとすることでサービスの質の確保を図ることを目的として開催される運営推進会議等に市役所と交代で出席した。（年３９回）

（イ）要支援者（予防給付）の介護予防プランの作成

要介護認定で要支援１・２と認定された方に対して、自立に向けた具体的目標を明確にした介護予防プランを作成し支援を行った。

＜介護予防プラン担当件数＞

年間１２，００７件

（月平均１，０００件）内、他事業所への委託分４，１３０件（月平均３４４件）

（ウ）地域支援事業における介護予防事業

・一次予防事業介護予防教室

在宅介護支援センター及び健康ボランティアの協力を得て「よっかいち･はつらつ健康塾！」を開催し、管内の第１号被保険者の方を中心に、介護予防の基本的な知識を普及・啓発するための講義や運動プログラムを実施した。（実施回数７０回、延参加者数１，０５４名）

・地域づくりによる介護予防推進事業モデル事業

住民運営の通いの場の育成支援を行う一環として、介護予防推進員が中心となり、高知市推奨の「いきいき百歳体操」をモデル事業として３ヶ月間実施した。（実施回数１３回、延参加者数１３９名）また、周知目的で「いきいき百歳体操」住民説明会も実施した。（実施回数５回）

（オ）参加研修等

三重県介護支援専門員「専門研修課程Ⅱ」（実務経験者更新研修）・・・参加２名

②くす在宅介護支援センター

（ア）総合相談

四日市市からの委託を受けて楠地区を担当エリアとし、高齢者・障害者等の各種相談に対応した。相談内容に応じて、介護保険サービスのほかに高齢者福祉サービスの申請代行及びインフォーマルサービスが利用できるように調整を行った。

＜相談件数＞

	本人	家族	その他	合計
来　所	４２	８５	２６	１５３
訪　問	２７２	３０	１２	３１４
電　話	６６	１９６	１４７	４０９
合　計	３８０	３１１	１８５	８７６

＜昨年度実績＞

	本人	家族	その他	合計
27 年度	３７１	１９１	１３１	６９３

（イ）地域連携、協力体制の構築

・楠地区民生委員児童委員協議会定例会への参加（毎月第２木曜日）
・楠地区社会福祉協議会総会への参加
・楠地区老人クラブ連合会役員会への参加
・楠地区内居宅介護支援事業所情報交換会の開催

（ウ）介護予防普及啓発、福祉活動推進事業

・転倒骨折予防教室「こけねぇずクラブ」の開催(毎月：第1・3水曜日）参加者：平均３１名／月
・若がえり体操教室（毎月第２火曜日）参加者：平均１４名／月
・地域行事への参加
街角くらぶ、老人クラブの集まり等へ参加し、在宅介護支援センターのＰＲ、消費者被害の情報提供を行ったり、介護保険制度の説明、介護予防体操、認知症予防等の出前講座を実施した。
・家族介護者の集い「認知症カフェ」　「ほんわカフェ」の集い　毎月１回
・「街角カフェ」運営協力
・地域拠点「楠の木　なんのき」の立ち上げ支援

（エ）一次予防事業

・「よっかいち・はつらつ健康塾！」の協力
地域包括支援センター・健康ボランティア（ヘルスリーダー）と協働し、介護予防に関する知識の周知・啓発を行った。
実施回数：全９回開催

（オ）地域ケア会議の開催

・３０～４０代を対象としたミニ会議　７月２９日（金）
・中学生を対象としたミニ会議　８月　１日（月）
・５０～６０代を対象としたミニ会議　１月２８日（土）
・各団体代表による地域ケア会議　８月２５日（木）・３月９日（木）

③介護保険認定調査業務の実施

９，１７７件（更新･変更申請）の要介護認定調査を四日市市からの受託事業として、調査員１９人体制で本業務を行った。

基準に則した適正な調査を行うため、介護・高齢福祉課とのミーティングや同行調査研修、三重県主催の研修会に参加した。

●月別件数（名）

	月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	
27 年度	在　宅	640	733	847	782	725	734	
	施　設	110	95	163	149	98	99	
	合　計	750	828	1010	931	823	833	
	月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計
	在　宅	773	624	686	714	795	815	8, 868
	施　設	100	90	98	88	100	85	1, 275
	合　計	873	714	784	802	895	900	10, 143
28 年度	月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	
	在　宅	705	665	762	739	623	688	
	施　設	66	66	71	91	87	72	
	合　計	771	731	833	830	710	760	
	月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計
	在　宅	672	624	623	642	722	695	8, 160
	施　設	84	105	69	98	91	117	1, 017
	合　計	756	729	692	740	813	812	9, 177

●介護・高齢福祉課とのミーティング　　３回（５月・８月・３月）

●介護・高齢福祉課職員との同行調査研修　　７～８月

●参加研修会等

職場外研修

開　催　日	研修会名	参加人数
12 月 6 日（火）	平成２８年度認定調査員現任者研修会（三重県主催）	１８名

④訪問介護事業（介護予防事業含む）の実施

・訪問介護事業の実施

職員体制としては、常勤職員が核となり、職員間の連携を強化し、効率的で利用者のニーズに即した質の高いサービスの提供に努めた。

また、介護予防訪問介護については、利用者の介護予防・自立支援を目標にサービスを提供した。

●介護保険・訪問介護サービス介護度別利用者人数（月ごとの集計）

年　度	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合　計
27 年度	２７５人	１４９人	８０人	９８人	１１７人	７１９人
28 年度	２４１人	１５３人	６４人	４９人	１０５人	６１２人

●介護予防訪問介護サービス区分別利用者数（月ごとの集計）

年　度	要支援１	要支援２	合　計
27 年度	３３９人	２５３人	５９２人
28 年度	４４０人	３２０人	７６０人

●介護保険・訪問介護サービス内容別延利用回数

年　度	生活援助	身体介護	身体生活	合　計
27年度	３，２１６回	７，２３８回	１，７８６回	１２，２４０回
28年度	２，８６２回	５，８７２回	１，３９２回	１０，１２６回

⑤居宅介護支援事業の実施

		居宅サービス計画（ケアプラン）作成件数	一ヶ月平均件数
27年度	居宅介護支援事業所 （四日市）	居宅サービス計画作成　７７９件 介護予防プラン作成　５５件	６９．５件
	居宅介護支援事業所 （楠）	居宅サービス計画作成　７７０件 介護予防プラン作成　９６件	７２．１件
	合　計	居宅サービス計画作成　１，５４９件 介護予防プラン作成　１５１件	―
28年度		居宅サービス計画（ケアプラン）作成件数	一ヶ月平均件数
	居宅介護支援事業所 （四日市）	居宅サービス計画作成　６７１件 介護予防プラン作成　７３件	６２．０件
	居宅介護支援事業所 （楠）	居宅サービス計画作成　７１９件 介護予防プラン作成　１２８件	７０．５件
	合　計	居宅サービス計画作成　１，３９０件 介護予防プラン作成　２０１件	―

利用者ニーズに即した質の高いサービスを提供する事を目標にマネージメントを行い、居宅サービス計画を作成した。近年、虐待、ターミナル、認知症独居、若年ケース等さまざまな環境におかれた利用者が増えてきている。また、介護者への支援も必要なケース（介護者が認知症、精神疾患、未成年など）もあり、多職種多様の事業所や関係機関と連携調整が必要となってきている。そのため個々の介護支援専門員の質を向上させるため研修会や会議等にも積極的に参加し、各居宅において定期ミーティングを行い各ケースの共有を図った。

・各居宅介護支援事業所においてケースミーティングを開催（毎月１回）
・介護保険サービス事業者等集団指導（１回）
・四日市市介護保険サービス事業者連絡会への参加（６回）
・認知症研修への参加（２回）
・医療関係研修（ターミナル、在宅診療、感染症等）（２名）
・福祉用具・住宅改修研修（新作特殊寝台説明会）（２名）
・三重県立総合医療センター意見交換会　４回・・・参加１名
・三重県介護支援専門員「専門研修課程Ⅱ」（実務経験者更新研修）・・・参加１名
・三重県地域包括・在宅介護介護支援センター研修会・・・参加１名
・認知症サミット in Mie・・・参加１名
・四日市医師会ＩＤ-Link に関する研修会・・・参加１名

⑥通所介護事業「ゆりかもめ」（介護予防事業含む）の実施

・「利用者の自立支援」「利用者による選択（自己決定）」「利用者本位」を基本理念に、安全・安心で信頼されるサービスを目指し、食事の提供、入浴、送迎、生活に関する相談・助言、健康状態の確認、その他利用者に必要な日常生活上の支援、並びに機能訓練を提供した。
・実利用者数 １，３４０名、延べ利用者数 ８，２５４名、一日平均 ２８．３名（昨年２８．３名）であり、昨年度と比べて利用人数に関してはほぼ横ばいであるが、利用者内訳としては、要支援１・要介護１の利用者が増え、要介護２・要介護４の利用者は減った。
・特に特徴的であったのが、今までサービスにつながらなかった軽度認知症高齢者が、ほんわカフェ（認知症カフェ）を数回利用することで、サービスにつながったケースが５件あった。

●月別利用者数(名)及び営業日数(日) (介護保険・障害者・障害児含む)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	利用者数	88	86	89	97	99	100	100	100	104	103	107	110	1,183
	延利用者数	698	639	739	763	734	684	735	614	644	617	703	743	8,313
	営業日数	25	23	26	26	26	23	26	23	23	23	24	26	294
28年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用者数	100	102	109	109	113	111	113	112	112	116	118	125	1,340
	延利用者数	698	652	738	753	810	709	702	650	632	590	604	716	8,254
	営業日数	25	23	26	25	26	24	25	24	23	23	23	26	293

介護保険事業では延べ８，０５９人の利用があり、要介護は７６％　介護予防２４％であった。

●介護予防通所介護サービス区分別延利用者数(%)

年　度	要支援１	要支援２	合　計
27年度	３１４人（１７）	１，５３４人（８３）	１，８４８人（１００）
28年度	５９１人（３１）	１，３２１人（６９）	１，９１２人（１００）

●介護保険通所介護サービス介護度別延利用者人数(%)

年　度	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合　計
27年度	2,845人 (45)	1,661人 (27)	1,077人 (17)	502人 (8)	204人 (3)	6,289人 (100)
28年度	3,055人 (50)	1,534人 (25)	1,036人 (17)	267人 (4)	255人 (4)	6,147人 (100)

＜障害児・者デイサービス事業＞

障害児に学校休業日や放課後の日中活動の場を提供するとともに、保護者のレスパイト（休養）等を目的として、介護保険のデイサービス事業所等が活用できる「放課後等デイサービス事業」の利用施設として障害児を受け入れた。また、障害者に対する「基準該当生活介護事業所」の利用施設として障害者の受け入れも行った。

●放課後等デイサービス事業利用者数（障害児）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	利用者数	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	2	16
	延利用者数	2	1	3	4	6	3	4	2	4	3	2	10	44
28年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用者数	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	14
	延利用者数	5	3	3	5	7	3	4	2	4	3	2	3	44

●基準該当生活介護事業利用者数（障害者）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	利用者数	1	1	1	3	3	3	2	2	2	2	2	3	25
	延利用者数	9	8	9	14	14	13	11	10	11	8	11	14	132
28年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用者数	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	18
	延利用者数	14	14	12	15	15	14	12	11	7	6	9	10	139

（２）在宅福祉事業

①日常生活自立支援事業の実施

三重県社会福祉協議会の委託を受けて、判断能力に不安があり、契約内容を一定程度理解できる高齢者や知的・精神障害者等を対象に福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりなどの支援を行った。新規契約件数は９５件となっている。

所長１人、専門員７人、事務補助員１人、生活支援員４８人（四日市市４０人、川越町６人・朝日町２人）体制で行政、民生委員児童委員や在宅介護支援センター等と連携を図り、事業を展開した。

また、生活支援員の資質向上を図るため、生活支援員研修会を開催するとともに、三重県社会福祉協議会主催の研修会へ参加した。

（ア）　相談件数…７，８５７件(年間)

相談対象別件数（件）及び割合（%）

年　度	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合　計
27年度	３，３５１ （４２．２）	１，３６０ （１７．２）	３，０２９ （３８．２）	１８８ （２．４）	７，９２８ （１００）
28年度	２，６８９ （３４．２）	１，５１１ （１９．３）	３，４６７ （４４．１）	１９０ （２．４）	７，８５７ （１００）

※相談件数は、専門員及び推進員が利用者や市民等から相談を受け支援を行った件数

（イ）　契約締結件数推移（件）

年　度	新規契約件数	契約解除件数	年度末契約件数
27年度	１１５	６５	３６３
28年度	９５	７２	３８６

（ウ）　平成２８年度末実績

a　生活支援員の派遣状況（件）

年　度	週に1回	隔　週	月に2回	月に1回
27年度	１９２	４６	６９	５６
28年度	１８１	５７	６７	８１

b　利用料負担状況（1回1，０００円）

年　度	有　料	無　料
27年度	８２件	２８１件（生活保護受給者…１７３件、住民税非課税者…１０８件）
28年度	８０件	３０６件（生活保護受給者…１８１件、住民税非課税者…１２５件）

c　市町別契約件数内訳（件）

年　度	四日市市	朝日町	川越町	その他
27 年度	３４４	４	１１	４
28 年度	３６６	４	１２	４

d　契約対象内訳（件）

年　度	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他
27 年度	１７９	６１	１１２	１１
28 年度	１６９	７３	１３０	１４

e　延支援回数（回）

年　度	生活保護	非課税	非課税（有料）	課　税	計
27 年度	６，５６８	３，７３４ （３，６３９）	１，６００	６９６	１２，５９８
28 年度	６，９５５	４，４５６ （４，２８３）	１，５２３	５４７	１３，４８１

※（　）内：市助成対象件数
※非課税（有料）：住民税非課税者で預貯金２００万円以上の利用者

(エ)　生活支援員研修会の開催・参加

a　四日市市社会福祉協議会主催

日時　平成２９年1月１８日(水)　　１３時３０分～１５時３０分
目的　生活支援員の資質向上を図る。
参加　３６名
内容　　講義　「生活支援員に期待する権利擁護支援とは」
　　講師　ふじ社会福祉士事務所　藤井　由紀子　氏

b　三重県社会福祉協議会主催

日時　平成２８年１０月１４日(金)　　１３時３０分～１６時１０分
目的　利用者との関係づくりや援助技術の向上を図る
参加　２４名
内容　①講義　「利用者との関係づくりと支援方法について」
　　講師　三重県立こころの医療センター　技師長　濱口　達也　氏
　　②パネルディスカッション　「支援のあり方を考える」
　　パネリスト　　鈴鹿市社会福祉協議会　清水　貴子　氏
　　伊賀市社会福祉協議会　辻中　孝子　氏

（３）障害者自立支援事業

①居宅介護事業の実施

障害のある人が事業者との対等な関係にもとづき、自らサービスを自由に選択し、契約によってサービスを利用する自立支援制度に基づき、自己決定・自己選択を尊重し、サービスを提供した。

●自立支援制度・居宅介護サービス利用者数（月ごとの集計）（名）

区　分	身体障害	知的障害	精神障害	合　計
27 年度	４８０	１２１	２５４	８５５
28 年度	４４３	１１６	２３９	７９８

●自立支援制度・居宅介護サービス内容別延利用回数（回）

区　分	家事援助	身体介護	合　　計
27年度	４，３６５	６，７２３	１１，０８８
28年度	３，４９７	５，８０２	９，２９９

（４）福祉施設等管理運営事業

①中央老人福祉センター（指定管理施設）

施設の市民利用に供するほか、民踊、水墨画、大正琴教室を開催するとともに看護師を配置し、機能回復訓練及び健康相談などに応じるとともに毎日健康体操をして高齢者の健康管理に努めた。また、利用者ニーズに基づき、いきいき体操、落語、音楽会を開催した。さらに三重県警に協力を得ながら交通安全や振り込め詐欺を未然に防ぐための啓発を行った。

・健康相談日数　２３９日　・延人数　６，９３４名　・1日平均　２９名

【利用状況】

年　度	団体利用数		一般利用数	計	一日平均	開館日数
27年度	３５１団体	６，１３０名	３２，４１０名	３８，５４０名	１２９名	２９７日
28年度	３２４団体	５，５８２名	３１，５４０名	３７，１２２名	１２５名	２９６日

②障害者自立支援施設「共栄作業所」（指定管理施設）

「共栄作業所」は障害者自立支援法で定められた新事業体系への移行を平成２３年４月に実施し、就労継続支援Ｂ型事業所として６年目を迎えた。当作業所は、一般の事業所に雇用されることが困難な利用者に対し、生産活動・その他の活動をとおしての仲間づくりや生活面での自立を目指して支援を行った。また、受注作業や自主製品作業に取り組むとともに、利用者の高齢化・障害の重度化が進行する中で、個々の能力や身体機能に見合った作業と生活の支援を行うことで、心身ともに充実した日々が送れるように努めた。

さらに、利用者が地域で充実した生活を送れるよう、保護者会（ＮＰＯ法人）が、主体となって取り組んできたグループホーム「クローバーの家」、「しらとりホーム」の運営についても、グループホーム担当者会議等へ参画し、連携を図った。

利用者数３５名（定員３７名）

活　　動	内　　容
自主製品作業	さをり織り、縫製
受　注　作　業	リサイクル解体作業、封筒点字刻印、贈答品箱詰め、段ボール組み立て作業、農耕関連作業、割箸の袋入れ作業、段ボール製品穴あけ作業、木工製品加工作業
実　　習	目的別社会実習（買物・ボウリング等）サークル活動（リズムダンス、カラオケ、ドライブ、町に出よう）
社　会　体　験	即売出店、社会工場見学、さをり織り展示会
運動・レクリエーション	散歩、余暇活動、体操、音楽鑑賞、ミニ運動会、カラオケ大会、ボランティア交流会

・自主製品の販売促進のため、地区文化祭などの各種即売に積極的に参加した。また、常時、製品の展示・販売を常設の店舗で行った。
・イオン四日市尾平店イベント広場で即売活動を行った。
・市主催じんけんフェスタで展示即売会を行い、さをり織り体験も実施した。
・四郷文化祭ふるさとまつり、四日市萬古まつり（春、秋年２回）のイベントなどに参加し、当事業所のＰＲと併せて啓発活動を行った。
・第８回目の「さをり織り展示会」を今年度も昨年に引き続き作業所で開催し、さをり織りのＰＲと販売の拡大に努めた。また、法人認可５０周年社会福祉大会に合わせ、文化会館第２ホールにて「さをり織り小さな作品展」を開催した。

・個人、団体ボランティアとの連携を図り、作業への協力や、地域交流会(ミニ運動会)、ボランティア交流会(カラオケ大会）をとおして利用者との交流促進をした。
・見学者を受け入れ、利用者との交流や障害者理解の促進、福祉体験の場を提供した。
・昼の休憩時に遠出の散歩などによる体力づくりに努めるとともに、利用者の健康状況に合わせた食事の提供を行った。
・地域に根ざした施設運営を図るため、地域住民、保護者代表等で組織する「施設サービス運営委員会」を定例的（年３回）に開催した。
・全国社会福祉協議会セルプ協の承認を受けた「幻のなたね油」の販売を継続し、農耕関連作業による就労支援活動の充実を図った。
・利用者へのサービスの質の向上を図るため、みえ福祉第三者評価の受審結果に基づく施設運営を行った。
・施設機能を活かし、特別支援学校の学生を受け入れた。
・毎月１回地震または火事の発生を想定し、避難訓練を行い、災害時の行動・対応について及び危機管理意識の向上を図った。
・不審者対応合同研修会を開催し、近隣他施設職員、また市障害福祉課職員、市社協福祉支援課職員も参加することで、いざという時の対応方法について学ぶことができた。

③障害者自立支援施設「たんぽぽ」（指定管理施設）

常時介護を必要とする重度の障害者に対して、利用者一人ひとりに応じた「個別支援計画」を作成し、排泄・食事等の介護や創作活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な支援を行った。また、障害者の社会参加に重点を置き、地域住民との交流・社会体験の機会を多く設けた。

さらに、利用者の重度化と高年齢化による機能低下に対応して、家族や関係機関との連携を深め地域で豊かな生活が実現していくための支援を実施した。

利用者数３１名（定員３５名）

活　　動	内　　容
作　業　活　動	アルミ缶回収、缶つぶし、リサイクル用品解体
自　立　訓　練	散歩、身体機能訓練、理学療法（相談を含む）、音楽療法、感覚統合療法、乗馬療法、プール
生　活　活　動	食事、排泄、更衣、歯磨き、社会体験、買物実習、一泊社会体験、グループ外出、半日外出
文　化　活　動	レクリエーション、紙すき、ビーズ、園芸、ステンシル、工作、季節活動、音楽活動、ピアノ鑑賞
在　宅　支　援	相談支援事業所・ショートステイ先等との連携、福祉制度・福祉サービス情報の提供
日中一時支援	四日市市の地域生活支援事業として障害者総合支援法に基づく日中一時支援サービスの提供。原則として自立支援給付費の支給決定を受けた方を対象とし、広く市民の方に施設を利用して頂けることを目指した。

・利用者の身体状況や家族の高齢化など家庭の事情により、外出が困難な利用者や外出の機会が少ない利用者に一日外出・半日外出を実施し、外出先で食事・買い物をする等経験領域を広げる取り組みを行った。また、移動手段に公共交通機関を利用することで、体験の幅を広げるとともに社会への啓発を行った。
・アルミ缶回収を通して、地域住民や企業及び保育園・小学校・中学校との交流を深めた。地域の小学校を定期的に訪問し、児童との交流を深めるとともに、環境理解や障害理解の促進に努めた。
・地域交流の取り組みとして、たんぽぽ主催のお茶会・夏祭り・餅つき大会・四郷高校吹奏楽部演奏会等の地域交流行事の開催と地域清掃活動を実施した。また、笹川中学校文化祭・四郷高

校文化祭・四郷地区文化祭等の学校・地域行事への参加や近隣の四郷在宅介護サービスセンター・四郷保育園・高花平幼稚園に出向き利用者の方と行事を一緒に行う等、交流を深めた。

・地域に根ざした施設運営を図るため、地域住民、保護者代表、ボランティア代表等で組織する「施設サービス運営委員会」を３回開催した。また、四郷地区の防災行事・人権研修等に参加し、地域の一員としての活動にも力を入れて取り組んだ。

・危機管理への取り組みとして、利用者携帯用災害時緊急袋・緊急対応カードの見直しと地震または火災を想定した避難訓練を年間４回行った。また、防犯対策として、これまでの不審者対応マニュアルの見直しを行った。

④障害者自立支援施設「あさけワークス」（指定管理施設）

就労や生産活動の機会の提供、一般就労に必要な知識や能力向上のために必要な訓練を行う施設として適切な運営に努めた。利用者の障害特性を把握し、一人ひとりに応じた支援プログラムを考え、個別支援計画に基づいて支援を実施し、利用者の就労意欲を引き出し、利用者によっては就労移行支援事業等への利用を目指せるよう取り組みを行った。

利用者数１５名（定員２０名）

活　　動	内　　容
受　注　作　業	シール貼り、ゴム製品バリ取り、銅線紙はがし、ダンボール製品作成作業など
自　主　作　業	点字名刺・名刺刻印作業、 ストラップ、クラフト製品作りなど
リサイクル作業	アルミ缶回収、空き缶分別作業
地　域　交　流	夏まつり、花見交流会、八郷地区ふれあいまつり、 地域清掃、福祉の勉強会

・地域交流への取り組みとして、地区の招待行事「八郷ふれあいまつり」に参加し、自主製品の販売とともに施設紹介を行い近隣住民との交流を図った。

・八郷地区社会福祉協議会との共催事業「福祉の勉強会」を開催し、視覚障害についての理解を深めるとともに、ＳＳピンポンを体験し、地域住民と施設利用者との交流を図った。

・体験学習の場として、市内小・中学校生徒の福祉体験や職業体験などを受け入れ施設や障害への理解を促す機会を提供した。

・「働くとは？」をテーマに、グループ毎に分かれて、市内事業所の施設見学をした。見学先の選定等を利用者自身が行い、自己選択・自己決定のスタンスを尊重した。

・施設も地域の一員であることを自覚するために、月１回程度、利用者・職員全員で朝明川の堤防沿いを中心に地域の清掃を行った。

・地域に根ざした施設運営を図るため、地域住民、保護者代表等で組織する「施設サービス運営委員会」を開催した。

・毎月１回地震または火事の発生を想定し、避難訓練を行い、災害時の行動・対応について、及び危機管理意識の向上を図った。

⑤障害者福祉センター（指定管理施設）

障害のある人の社会参加と交流の促進を目的として、身体障害者デイサービス事業等を実施するとともに、併せて障害者福祉関係団体の支援や障害者ボランティアの養成、障害者福祉の啓発等を行った。各事業の実施にあたり、市社協がもつ様々の部署と連携して、公の施設として公正・公平かつ専門職によるサービスの提供に努めた。

（ア）身体障害者デイサービス事業

ａ　機能訓練事業

言語訓練では、主に脳血管障害の後遺症により、言語に障害のある人を対象に言語症状や社会参加の状態に合わせて個別及び集団による訓練を行った。高次脳機能障害者の集団訓練は、社会参加の機会を広げ、複数人でのコミュニケーションの実践の場になった。

理学療法では、事故や疾病の後遺症などにより、身体機能が低下した在宅の人を対象に機能訓練を実施した。特に、家庭でできる自主訓練の指導など、日常的に取り組めるプログラムを提案し、身体機能の維持を目指した。

b　社会適応訓練事業

歩行訓練では安全な移動手段としての白杖歩行技術の習得を目的として、移動面の自立支援を行った。単独歩行だけでなく、手引き歩行でも住まいの周辺の地図を頭に描くことができるように訓練を実施した。日常生活では、介助者に歩行ルートや目印を伝えることで、手引き歩行での住まいから目的地までの移動が可能となった。

また、「点字」という文字を獲得することで、自分自身で生活に必要な情報を得られるよう点字教室を開催した。視覚と聴覚に障害のある重複障害者に対して、新に指点字を指導し、コミュニケーション手段の幅を広げることができた。

c　創作的活動事業【粘土工芸教室】

樹脂粘土で、ミニフルーツ、クリスマス飾り、おひなさま、薔薇などを作り、季節を感じながら楽しく活動ができた。回を重ねるごとにひとり一人の技術が向上し、自宅で作品づくりをする利用者も現れ、生活の幅を広げられた。またそれに加えて、利用者間の交流が深まったため、サークル化に至った。

●身体障害者デイサービス事業実施状況

				契約者	回数	延利用者数
27 年度	1	機能訓練事業	言語訓練	５名	１５１回	１５１名
			社会適応訓練Ⅰ・Ⅱ	９名	３９回	１４４名
			終了者フォロー等		２１９回	２１９名
			理学療法	３５名	３３１回	３３１名
	2	社会適応訓練事業	点字教室（視覚障害者）	７名	２２回	９１名
			歩行訓練（視覚障害者）	２名	５０回	５０名
			相談等		０回	０名
	3	創作的活動事業	コーラス（合唱）・音楽教室	１０名	１９回	１３０名
28 年度				契約者	回数	延利用者数
	1	機能訓練事業	言語訓練	７名	１２８回	１２８名
			社会適応訓練Ⅰ・Ⅱ	１１名	３８回	１２１名
			終了者フォロー等		２５４回	２５４名
			理学療法	３５名	４６７回	４６７名
	2	社会適応訓練事業	点字教室（視覚障害者）	４名	２２回	６８名
			歩行訓練（視覚障害者）	２名	５１回	５１名
			相談等		１９回	１９名
	3	創作的活動事業	粘土工芸教室	８名	２０回	１３３名

d　障害児デイサービス事業

１８歳以下の児童を対象に、長期休暇中に活動する場を提供するとともに、保護者のレスパイト（休息）等を目的として実施した。家庭や学校では体験できないことを企画し、自律と自主性を育んだ。（利用契約者数３６名）

	回　数	小学生	中学生	高校生	合　計
27 年度	１３回	３３名	１９名	１０名	６２名
28 年度	１３回	３４名	１４名	９名	５７名

e　失語症会話パートナーとの交流会

失語症者が失語症会話パートナーを利用して、会話を楽しむ場を提供した。

		参加者	回数	延参加者数
27 年度	失語症者	１５名	２２回	２０５名
	失語症会話パートナー	２０名		２１２名
		参加者	回数	延参加者数
28 年度	失語症者	１５名	２１回	１８１名
	失語症会話パートナー ※実習生含む	３０名		２０４名

f　難聴者・中途失聴者教室

難聴者や家族に対し、難聴者の会話の特徴や誤解を招きやすい言動を知り、よりよいコミュニケーションのコツを学んだ。また難聴者であることを知ってもらう工夫の一つとして、名刺サイズのカードを作成した。

開催日	内　容	参加者
10月30日（日）	「聴こえのことで困っていませんか？ ～一歩踏み出すために～」 講師：（一社）全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 要約筆記部　副部長 三重県難聴・中途失聴者協会副会長 藤谷　弘晃　氏	８名
11月23日（水）	「耳マークシールを使って“私をわかってカード”を作ろう」	９名

g　障害者相談業務

障害者の自立と社会参加を促進するため、障害者の抱えている課題の解決に向けて言語聴覚士、理学療法士、歩行指導員など経験豊かな専門職員が相談にあたるとともに、より専門的な相談支援機関への紹介等を行った。

（イ）障害者福祉関係団体の支援

各団体の活動拠点として貸館や、備品の貸出を行った。利用者アンケートやセンター連絡会にて意見を聴取し、より快適な活動環境の整備に努めた。また、障害者大会の成功に向けて支援を行った。

登録団体：四日市市身体障害者団体連合会（６団体）、心身障害者団体連絡協議会（３団体）、障害児者関係団体（２８団体）、創作的活動自主サークル（８サークル）、ボランティア団体（１４団体）の登録がある。

（ウ）障害者福祉に関する啓発・情報提供

a　かけはし掲載５回

社協の広報紙『かけはし』の『障害者福祉センターだより WITH』の常設コーナーで四日市市民向けに広報した。今後も紙面の充実や工夫をはかる。

b　障害者福祉講座の開催

開催日	内　容	講　師	参加者
2月25日（日） 会場：四日市市勤労者・市民交流センター本館１Ｆ多目的ホール	「スポーツ吹矢についてのお話&体験会」 ・スポーツ吹矢の魅力とは ・障害のある競技者を支える補助用具紹介、デモンストレーション ・スポーツ吹矢の体験	（社）日本スポーツ吹矢協会 三重県教育部長・三重県障害者サポート部長 栗本義久氏（上級指導員）ほか８名	３３名

c　出前講座の開催（第５次地域福祉活動計画バージョンアッププロジェクト関連）

障害者が地域で安心して暮らせるよう地域の障害者に関する理解の促進を図るため出前講座を開催した。移動や情報、コミュニケーションに関して自分が工夫していること、配慮して欲しいことなどについて障害当事者を講師に迎え体験談を中心に進めた。また、スポーツをとおしての障害理解等タイムリーな話題を取り上げた。

開催日	依頼者／開催場所	対象	内容・講師	参加者
6月7日（火）	桜地区民生委員・児童委員協議会 場所：桜町西中央公会所	同左	車いすの方の理解 「電動車椅子と私とパソコン」 講師：中山秀子氏	７名
9月28日（木）	四日市市職員研修所 場所：総合会館	四日市市新規採用職員	障害理解のために 失語症の理解 講師：芝原政幸氏と言語聴覚士	７９名
11月19日（土）	八郷地区社会福祉協議会 場所：あさけワークス	八郷地区住民	視覚障害の理解 ～ＳＳピンポンをとおして、共生社会をめざして～ 講師：伊藤雅彦氏、鳥居勇次氏、稲毛洋子氏	３０名

（エ）要約筆記奉仕員派遣調整等

要約筆記奉仕員派遣を３３４件（うち、市派遣事業：２８８件）行った。

⑥障害者自立生活支援センター「かがやき」

障害のある人が地域で自分らしい、心豊かな生活が送れるよう幅広い支援に努めた。支援対象者は身体障害者だけでなく、精神障害と身体障害が重複した重度の人や高次脳機能障害の人も少なくなく、関係機関による支援ネットワークの構築や連携が求められた。

（ア）相談業務

●相談件数（件数）

年　度	実人員 ※重複含む	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
27年度	２４２	１４４	４	４４	１５	２	１	４３
28年度	２１５	１６４	６	３９	１３	２	２	２２

●相談方法（件数）

年　度	訪問	来所	同行	電話 メール	ケース 会議	関係機関	その他	合　計
27 年度	３７０	３５１	８５	１，２５８	４５	２，３９６	４６	４，５５１
28 年度	３７５	３８５	４３	１，００３	７０	２，７２４	４５	４，６４５

●相談内容（件数）

年　度	福祉 サービス	障害 病状の理解	保　健・ 医　療	不安解消 情緒安定	保　育・ 教　育	家族関係 人間関係	家　計・ 経　済
27 年度	２，３２４	１２２	６９０	１４２	５４	１３７	２００
28 年度	２，６２６	１１	５９１	１５６	１１	１６９	１０５

年　度	生活技術	就　労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他	合　計
27 年度	２７５	１１６	３２	５３	４０６	４，５５１
28 年度	２７４	２２０	２６	１１５	３４１	４，６４５

（イ）自立支援協議会生活支援部会の運営

四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会の専門部会である生活支援部会において、地域課題の抽出と解決に向けた協議を行った。第４期障害福祉計画にある『施設入所からの地域移行』について地域生活を支える関係者が集まる部会で地域生活を継続するためにはどのような支援が必要かを共有するために、事業所連絡会が抱える事例を元に、地域課題の共有を図った。さらに、利用者の意思を的確に把握し、希望を聞き取る技術を向上すべく、『よりよいコミュニケーション～意思決定支援のためのコミュニケーション技術の向上をめざして～』というテーマで参加型学習会を開催した。

また、連絡会では引き続き高齢化する利用者を支えていく手立てを検討すべく、介護保険事業所の見学や制度の学習、介護部門行政担当者との意見交換等、２つの制度で支えていく仕組みについて協議した。さらに、触法障害者の地域生活支援に役立てるため、三重刑務所の見学を行った。

生活支援部会：４回
準備委員会　：４回

構成委員：行政、障害者支援施設、グループホーム・ケアホーム、生活介護事業所、就労継続支援Ｂ型事業所、居宅介護事業所、障害当事者、相談支援事業所

連絡会：（居住系サービス事業所連絡会関連会議）　６回＋講演会１回、会議傍聴１回
（居宅介護事業所連絡会関連会議）　５回
（通所事業所連絡会関連会議）　４回
（ＧＨ連絡会関連会議）　６回＋見学会１回、情報交換会１回

（ウ）特定相談支援事業

障害者福祉サービス等を申請した障害者について、サービス等の利用計画の作成及び利用計画のモニタリングを行い、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、よりきめ細かく支援をした。

●計画支援実績

年　度	新規計画	モニタリング	更新・変更計画
27 年度	５７件	３８２件	１４４件
28 年度	１６件	２８８件	１５９件

⑦視覚障害者福祉センター

市内在住の視覚障害者を対象に、はり・きゅう・マッサージを職業としている人の技術向上を目的とした三療学術講習会を開催した。

また、情報提供のため、市の公文書などの点訳業務（２４４件）を行ったほか、団体活動の場を提供した。

講座名	内　容	回数	利用者数
健康講座	８月１８日（木）１３時３０分～１５時００分 「健康講座：元気で長生きアンチエイジング」 講師：三重県鍼灸マッサージ師会　員内監事 全日本鍼灸マッサージ師会　監事　伊藤　由尋　氏	１回	２５名
	１１月１７日（木）１３時３０分～１５時３０分 「高齢者に対する未病と三療」 講師：鈴鹿医療科学大学　鍼灸学科教授　佐々木　和郎　氏	１回	１０名

⑧障害者就業・生活支援センター「プラウ」

障害者雇用は障害者雇用率につきある程度の目標は達成したもののさらに進めるための取り組みを始めている状況にある中、７５人が一般事業所に就職。相談者や現在企業にて勤務している人の中にも発達障害が疑われる人が多くなり、知的に重度ではないにもかかわらず、コミュニケーションスキルや社会性で多くの課題を抱えている人が目立ち、ますます専門的な支援が必要とされている。関係機関が連携しての障害者雇用についての啓発や事業所開拓は成果をあげているものの さらに進めるにあたり課題も多く、実行性のあるネットワークの構築が求められる。

（ア）相談業務の実施

●登録状況（名）

年　度	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合　計
27 年度	１０２	３７１	３３０	１３	８１６
28 年度	１０９	４１３	３６４	１４	９００

●ツール別延べ相談回数（回）

年　度	来　所	電話 文書メール	家庭 入所施設訪問	職場訪問	他の支援 機関	合　計
27 年度	１，９７４	４，３４７	５４０	８４７	１，９８８	９，６９６
28 年度	１，８７４	４，４９４	５６６	８５５	１，９１４	９，７０３

●相談内容別延べ相談回数（回）

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合　計
就職に関する相談	２３６	１，３４１	１，６７７	１８３	３，４３７
職場定着に係る相談	１３５	１，３１４	９７１	２５	２，４４５
生活に係る相談	１１２	７２５	４９５	３０	１，３６２
就業と生活の両方にわたる相談	２８２	８２８	１，２９９	５０	２，４５９
合　計	７６５	４，２０８	４，４４２	２８８	９，７０３
27 年度	１，０４０	４，２３０	４，１８６	２４０	９，６９６

●就職した障害者の数（名）

年　度	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合　計
27 年度	5	４３	３９	0	８７
28 年度	7	３９	２８	1	７５

（イ）関係機関との連携

a　自立支援協議会雇用部会、関係機関連携会議（８回）

参加機関　三重障害者職業センター、三重県雇用対策課、北勢福祉事務所、障害者雇用アドバイザー、四日市公共職業安定所、一市三町障害福祉課、四日市市商工課、学校関係、就労移行支援事業所、精神障害者相談支援事業所、当事者団体等２０機関。

内　容　各関係機関の取り組みを情報交換し、障害者の雇用について啓発活動や研修会などを実施。また障害福祉計画における取り組みも実施。

b　障害者雇用サポートフェア　研修会、移行支援事業所・関連企業見学

（四日市市商工課・四日市公共職業安定所と共催）

日　時　平成２９年3月７日（火）

参加人数　５０名

内　容　企業の方に就労移行支援事業所を知ってもらい、障害特性、障害者雇用に関して配慮すべき点、各種支援機関の支援制度を体系的に理解していただくことで、一層の障害者雇用の推進を図ると共に既に事業所に就労している障害のある人の離職を防止し、戦力として定着するための機会として実施。プラウも移行支援事業所とともにブースを構え、企業へ障害者就業・生活支援センターの説明や実習制度の案内等を行った。

c　A型事業所連絡会の開催（６回）

内　容　障害福祉計画を進める体制づくりの中で福祉施設から一般就労に向けての取り組みの一環として、施設にA型事業所も含まれるため、課題等をすいあげることを目的に実施した。

d　就労移行推進協議会の立ち上げ等

内　容　障害者就業・生活支援センターと就労移行事業所との連携強化また就労移行事業所のスキルアップを目的に発足。１０か所の障害者就業・生活支援センター、就労移行事業所が協議会委員となり、プラウも委員の一員として、月に１回委員の会議に参加。今年度の取り組みとして福祉事業所の課題をすいあげるためのセミナーを四日市、伊勢で実施した。

（ウ）講座の開催

就労・定着支援講座（６６名）

日　時　平成２９年2月１７日（金）

内　容　三重県自閉症・発達障がい支援センターのコーディネーターを講師に招き、障害者雇用を進める企業に発達障害への理解を促し雇用の新たな創出や職場定着に繋げること、企業の声を聴く事で当事者が長く働き続けるには何が必要なのかを学ぶこと、支援者が発達障害のある方の就労支援に何が必要なのか学ぶことの機会となった。

（エ）定着支援のために

a　つどい　退社後や休日に集まり、リフレッシュを兼ねた活動や近況報告などをして交流する。

第1回：平成２８年　7月　9日（土）　第2回：平成２８年　8月１６日（火）

第3回：平成２８年１１月２０日（日）　第4回：平成２９年　2月１７日（金）

b　就業している障害者の激励会と交流会（４０名）

日　　時　　平成２８年１２月２５日（日）
内　　容　　激励会と情報交換会を実施

⑨障害者就労支援事業ワークセンター

就労を希望する障害者を対象に、市役所等において、就労に向けた職場訓練を行い、就労に対する意識づくりを高め、次のステップへの土台作りを行った。また、市内事業所１社を関係機関とともに訪問し、定着支援を行った。

（ア）職場実習の状況

●実習した障害者別の人数と日数

年　度	身体障害	知的障害	精神障害	合　計
27 年度	０名	０名	１０名	１０名
	０日	０日	４９３日	４９３日
28 年度	１名	２名	１１名	１４名
	１８日	１００日	３６６日	４８４日

●職場実習後の状況

就労移行支援事業所１名、就労継続支援Ｂ型事業所３名、求職中３名、就労継続支援Ｂ型体験中１名、ワークセンター訓練継続中３名、自宅療養３名

●訓練作業場所の状況

年　度	市役所 執務室	市役所 執務室外	市役所 出先機関	ワークセンター	合　計
27 年度	３５	４４	１７	３９７	４９３
28 年度	２５	５６	１８	３８５	４８４

※市役所執務室　…市役所庁舎内　各課事務室
市役所執務室外…庁舎内会議室・総合会館内研修室・庁舎内印刷室・庁舎内集配室
市役所出先機関…四日市市消防本部・四日市市立博物館

⑩よっかいち福祉の店

社会福祉施設利用者や在宅高齢者などの手作り作品を、販売ボランティアの協力を得て、販売した。また、地区文化祭等行事、北伊勢上野信用金庫、その他各関係機関のご協力により、展示即売会を３２回実施した。

運営委員会を開催し、運営のあり方、収支等について協議した。

経営上の理由から、平成２９年３月末日をもって、イオン尾平店の常設店を閉店した。

・常設店　　イオン四日市尾平店３階　　開店日数（年間）　３４７日
　　市総合会館１階　　開店日数（年間）　１５５日
・年間売上実績　　７，５２３点　　２，６８６，３００円

⑪おもちゃ図書館

障害の有無に関わらず、子どもたちが「おもちゃ」を通じて、情操や知的・身体的機能を高めてふれあうことや､おもちゃ図書館や移動おもちゃ図書館へ来館する親の子育て支援を目的とし、おもちゃ図書館ボランティア「よっちゃんグループ」の協力を得て運営を行った。

●おもちゃ図書館利用実績

	27 年度	28 年度
児　　童	４，１２８名	４，６２９名 (障害児　６１名)

保　護　者	３，５３０名	４，０３７名
利用者合計	７，６５８名	８，６６６名
年 間 開 館 日 数	２２４日	２２４日
１日あたりの利用者数	３４名	３９名

●団体利用実績〔９回〕

種　別	施設名	回　数	延べ利用者数
四日市市児童発達支援センター	あけぼの学園	９回	７５名

●移動おもちゃ図書館〔８回〕

実　施　日	種　　別	利用者数
８月２４日（水）	あがた保育園 子育て支援センター	３４名
９月　８日（木）	神前地区民児協 子育て支援	３３名
１０月１２日（水）	三重地区民児協子育て支援	８０名
１１月１６日（水）	笹川保育園 子育て支援	３２名
１２月２２日（木）	橋北子育て支援センター　ぽっぽ	４７名
２月２２日（水）	海蔵保育園 子育て支援	６５名
３月　８日（水）	八郷西保育園 子育て支援	５０名
３月１５日（水）	羽津地区民児協 子育て支援	２０名
	合　　計	３６１名

●おもちゃ図書館まつり

実施日　　平成２８年　７月１４日（木）
場　所　　四日市市文化会館　第４ホール
参加数　　３１６名（乳幼児１６３名、大人１５３名）
内　容　　魚つり・ボーリング・まとあてなど体を使って遊べるコーナー、乳幼児向けのおもちゃコーナー、手づくり布絵本コーナーなどの各種コーナーの設置と、ボランティアによる手づくり人形劇『おむすびころりん』の開催。

⑫母子・父子福祉センター（指定管理施設）

母子家庭及び寡婦の経済的・精神的負担を軽減し、生活の安定と自立を促進するため、各種相談や技能習得講座を実施した。今年度から履歴書の書き方講座を新設した。また、趣味を通じての生きがいやふれあいづくりを目的としてサークルを支援した。

・相談件数　　４７０件　（27 年度相談件数　２９３件）

【技能習得講座・サークル実施状況】

講座・サークル名	回　数	延人数
技能習得講座		
・パソコン	１２回	６３名
・飾り巻き寿司	１回	１４名
サークル		
・書　道	２４回	３５９名
・手　芸	２４回	１３８名
・ちぎり絵	１２回	７３名
・編み物	２３回	１６４名
・和　裁	３２回	７８名
・リフォーム	２４回	１４２名
合　計	１５２回	１，０３１名
27 年度	１５７回	９７２名

５．その他の事業

（１）福祉サービス相談窓口の開設

市社協が提供する福祉サービスに対する利用者の満足度を高め、利用者の権利を擁護し、利用者が福祉サービスを快適に利用することができるよう支援するため、福祉サービス相談窓口を開設した。

要求が８件、請求及び責任追及は０件で、全て解決し、継続はなし。（前年度　要求３件、請求及び責任追及は０件）

●相談受付状況

種別	NO	所属名	申出人及び分類	申出内容	対応及び結果
要求	①	社協事務局	利用者 貸会議室	ボランティア活動室の荷物を整理して使いやすいようにしてほしい。	荷物を整理することを伝え、納得された。以降、定期的に同室の整理整頓に配慮している。
要求	②	地域福祉課	利用者 職員の言動	車椅子借用時、返却時に、職員の障害に理解のない言動に傷ついたので、正しい理解で対応して欲しい。	申出人に誤解を招くような対応をしたことを所属長より謝罪し、納得された。職員には、今後は社協職員として言動には充分配慮するよう指導した。
要求	③	たんぽぽ	利用者の家族 一泊社会体験での長椅子からの転落事故	・事故発生時の詳細な様子を聞かせて欲しい。 ・事故防止に努めてほしい。	改めて事故の詳細及び具体的な再発防止策の説明と謝罪を行い、納得された。
要求	④	たんぽぽ	利用者の家族 利用者の感染症対策	風邪症状等のある利用者の通所について、対応を改めてほしい。	その場で判断できるような明らかな病状でない限り、欠席を促すことは出来ないため、本件を保護者会及び施設サービス運営会議などで取り上げ、改めて周知依頼を行い、納得された。
要求	⑤	あさけワークス	利用者及びその家族 職員の言動	送迎バス運転手の言動（荒っぽい運転や言葉がけ）を改めて欲しい。	事実確認を行い、所属長より当該職員に対し適切に業務にあたるよう厳重注意を行った。申出人と家族に謝罪し、再発防止の徹底、質の向上を約束し、納得された。
要求	⑥	居宅介護支援事業所	利用者の家族 職員の支援方法	ケアマネが家族の意向を確認せず、義理父の老健施設での一時入所を進めた。ケアマネを変えて欲しい。	申出内容と実際は食い違いがあるものの、理解を求めていくのは困難と判断し、不快な思いをさせたことを謝罪し、納得された。また、ケアマネを家族指定の事業所に変えた。
要求	⑦	介護保険認定調査室	利用者 調査方法	調査時の動作確認や長時間の聞き取りを改善してほしい。	事実確認の結果、過度な調査ではなかったが、一部配慮が足りなかったため、申出人に謝罪し、今後は負担とならないような調査を心がけるように伝え、納得された。他調査員へも周知した。
要求	⑧	介護保険認定調査室	利用者の家族 調査員の遅刻	調査時間に遅れたこと、調査内容が充分ではなかったことに対し、謝罪と説明がほしい。	遅刻したことを調査員、所属長より謝罪、説明し了承を得た。今後の対応について調査時間に遅れそうな場合や、遅れた時の対応をミーティングで協議した。

（２）職員の安全衛生

①第１回衛生委員会

実施日・場所　　平成２８年7月１日（金）　市総合会館　３階　軽作業室

内容：平成２８年度衛生委員会の実施計画案について

第８９回「全国安全週間」に伴う当法人の取り組みについて

産業医講話「熱中症について」

②第２回衛生委員会

実施日・場所　　平成２８年9月９日（金）　市総合会館　４階　会議室

内容：産業医による職場巡視を当日実施

⇒ 総務課・地域福祉課・日常生活自立支援センター

「職場の安全衛生について」巡視のチェックポイントの解説（産業医）

「全国労働衛生週間」の実施に合わせ、本会も１０月１日～７日「ゼロ災活動」を実施し、全職員にワッペンを配布

③第３回衛生委員会

実施日・場所　　平成２８年１２月９日（金）　本町プラザ

内容：安全衛生委員による「職場巡視チエックリスト」の総括及び集計報告書を回覧

④第４回衛生委員会

実施日・場所　　平成２９年3月１０日（金）　市総合会館　４階　会議室

内容：平成２８年度「職員健康診断結果」を基に産業医の講評

ストレスチェック結果報告、産業医の講評

本町プラザ職場巡視結果報告

平成２９年度本会の「年間安全衛生管理計画」

⇒「安全衛生に関する基本方針」及び「年間安全衛生目標・スローガン」の決定

（３）職員研修の実施

職員の資質向上のため、全社協、県社協等が主催する派遣研修に２２３回、延べ３５８人を派遣した。また、本会主催研修の所属長研修（各施設長等を対象）、新規採用職員研修、各職場研修、人権研修や市職員研修など５６回、延べ５３６人が受講した。

（４）資金貸付事業の実施

生活福祉資金は、平成２８年度福祉費と技能習得費が増加し、緊急小口資金が減少した。

①生活福祉資金貸付事業の実施

三重県社会福祉協議会が行う資金貸付事業で、低所得者、障害者、高齢者を対象に貸付の相談、申請、返済などの窓口を担当した。

※は貸付期間が複数年になるもの

資　金　の　種　類	貸付件数	貸　付　金　額
※教育支援費・就学支度費	７件	２，１２６，４５０円
障がい者自動車購入費	２件	３１５，０００円
療養費	１件	８８５，０００円
技能習得費	６件	２，０７１，０００円
福祉費（住宅）	１件	１，６９６，０００円
福祉費（エアコン・冷蔵庫購入）	８件	６２８，０００円
福祉費（出産）	１件	９６，０００円
総合支援資金（生活支援費）	５件	１，５９２，０００円
緊急小口資金	１５件	１，５００，０００円
臨時特例つなぎ資金	１件	１００，０００円
合　計	４７件	１１，００９，４５０円
27 年度	５５件	１６，３８７，５００円

②資金貸付事業の実施

福祉金庫（A）は生活保護受給者、（B）はその他の低所得者を対象に市保護課と、国民健康保険高額療養費は市保険年金課、介護保険資金貸付は市介護高齢福祉課と連携して貸付業務を行った。

	資金の種類	貸付件数	貸　付　金　額
27 年度	福祉金庫（A）	１８３件	２，４５９，６４０円
	福祉金庫（B）	３１７件 内訳：連帯保証人あり 130 件 生活保護申請 187 件	９，２４０，０００円
	国民健康保険 高額療養費	２１件	２，２９６，０００円
	介護保険資金貸付	０件	０円
	合　計	５２１件	１３，９９５，６４０円
28 年度	資金の種類	貸付件数	貸　付　金　額
	福祉金庫（A）	１６３件	２，１３２，０００円
	福祉金庫（B）	３１４件 内訳：連帯保証人あり 136 件 生活保護申請 178 件	９，２３９，０００円
	国民健康保険 高額療養費	１４件	２，７６９，０００円
	介護保険資金貸付	１件	１７９，８２０円
	合　計	４９２件	１４，３１９，８２０円

（５）実習生等の受け入れ

将来の福祉を担う人材育成を目的に、福祉専門職（社会福祉士・介護福祉士）や、看護師、または、小学校・中学校福祉体験、四日市市新規採用職員研修等を受け入れ、本会が持つ機能、役割などについて学ぶ機会を提供した。

種　別	人　数
社会福祉士	３人
看護師	７人
教員免許	２人
市新規採用職員	３４人
小・中職場体験	１３人
言語聴覚学専攻学生	２人
その他（西日野にじ学園・県社会福祉協議会 職場実習）	３人
合　計	６４人
27 年度	１０５人

（６）財政基盤の安定化

①社会福祉協議会会員会費

	会費の種類	会員数	会　費
27 年度	一　般　会　員	１，０６０人	７６２，０００円
	団　体　会　員	３５６団体	３，３８３，７５５円
	合　計	―	４，１４５，７５５円
	会費の種類	会員数	会　費
28 年度	一　般　会　員	９６７人	７４４，０００円
	団　体　会　員	３３９団体	３，３１７，０５０円
	合　計	―	４，０６１，０５０円

②善意の基金

香典の一部または全部、チャリティ募金等を社会福祉のために、という趣旨の寄付で、基金の運用益等を地域福祉事業の財源としている。

年　度	積立額	基金（年度末現在）
27 年度	４，１０９，３２５円	１７９，１６９，０７１円
28 年度	２，２０２，８２７円	１７２，７６９，８９８円

③収益事業

a　「喫茶ふれあい」の経営

	27年度	28年度
営　業　日　数	２４７日	２４６日
年　間　総　収　入	１０，２２８，５８１円	１０，０２７，０８２円
１日平均利用数	約４６名	約４２名
１日平均売上額	４１，４１１円	４０，７６０円

b　「総合会館売店」の受託運営

	27年度	28年度
営　業　日　数	２５３日	２４９日
年　間　総　収　入	３０，２３４，１２４円	３１，１９３，７８９円
１日平均利用数	約２８２人	約２４２人
１日平均売上額	１１９，５０２円	１２５，２７６円

法人運営事業繰入	１，０００，０００円	６５０，０００円

④共同募金運動（三重県共同募金会四日市市共同募金委員会事業）の推進

１０月１日・２日にＰＲセレモニー・街頭募金を行った。平成２７年度に引き続き、こにゅうどうくんバッチを作成し啓発した。

	種　別	目標額	実績額	達成率
27年度	一般募金	４３，０９８，２００円	３９，４５０，９４８円	９１．５３％
	歳末たすけあい募金	１，１００，０００円	２，３０８，５１８円	２０９．８０％
	合　　計	４４，１９８，２００円	４１，７５９，４６６円	
28年度	種　別	目標額	実績額	達成率
	一般募金	４３，８４１，０００円	３８，６９３，９７３円	８８．２６％
	歳末たすけあい募金	９００，０００円	１，５９３，１３３円	１７７．０１％
	合　　計	４４，７４１，０００円	４０，２８７，１０６円	

⑤寄付金等

a　現金

	27年度	28年度
香典の全部または一部、チャリティバザー等	４，１０９，３２５円	２，２０４，３７５円
上記以外の寄付 （企業から施設への指定寄付、NHK歳末募金等）	１２６，９００円	８２，０００円
合　　計	４，２３６，２２５円	２，２８６，３７５円

b　物品寄贈

白い小箱（災害用非常食品）、生活困窮者用食糧など

⑥資産運用

自主財源の確保を目的に、本会資産運用規程（第３９条第２項余裕資金の運用）に基づき、長期国債を中心とした資産運用を行い、今年度は利息により３，４８６，１００円の利益があった。

（７）生活困窮者支援事業（第５次地域福祉活動計画バージョンアッププロジェクト関連）

平成２７年７月から三重県社会福祉協議会が実施する「みえ福祉の『わ』創造事業」に加わり、サービス提供した。生活困窮者就労活動支援事業については、平成２８年４月１日から施行された。

①生活困窮者支援緊急食糧提供事業（フードバンク）

延べ１４４名、１７７件　(27 年度：延べ９８名、１３４件)

②緊急時物品等支援事業

貸　与：カセットコンロ（1件)、カセットガス（1件)

購入等：緊急食糧（3件)、素泊り宿泊費用（3件)

③生活困窮者就労活動支援事業

交通費助成（2件)